

中高年世代における身だしなみに関する調査

株式会社ワコール

聖心女子大学文学部 教授 菅原健介

東京未来大学こども心理学部 講師 鈴木公啓

共同研究

2014年4月

■中高年世代における身だしなみに関する調査

1. 調査概要	5
2. 対象者属性	6
3. 調査結果の概要	12
4. 外出時の身だしなみにおける意識について	
(1) 普段の外出時の身だしなみで配慮していること	16
(2) 普段の外出時に身だしなみを配慮している理由	18
(3) 外出先で身だしなみに気を遣う相手	20
(4) 外出先で身だしなみに気を遣う場面や場所	21
(5) 身だしなみに気を遣わず外出する場合の理由	22
(6) 外出時におけるオシャレへのこだわり度合い	23
(7) 各シーンにおける外出可能な服装	24
(8) 電車・バス乗車時に「中高年の男性」に留意して欲しいこと	26
(9) 配慮していない「中高年の男性」に対する印象	28
(10) 電車・バス乗車時に「中高年の女性」に留意して欲しいこと	30
(11) 配慮していない「中高年の女性」に対する印象	32
5. 下着の身だしなみにおける意識について	
(1) 普段、他人の下着について不快に感じること	34
(2) 下着の身だしなみとして意識していること【女性】	36
(3) 下着の身だしなみとして意識していること【男性】	37
(4) 下着に関する考え方	38

中高年世代における身だしなみに関する調査

1. 調査概要

◇調査名称

「中高年世代における身だしなみに関する調査」

◇調査目的

中高年世代の「身だしなみ」への配慮の実態を探ると共に、「身だしなみ」への気遣いを維持するための理由や要因を探る。

◇調査対象

55歳から74歳の女性・男性
居住地：首都圏（東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県）

◇サンプル数

合計1,218サンプル（人）

◇調査方法

インターネット調査

◇調査実施時期

2013年10月25日（金）～27日（日）

◇調査実施機関

株式会社マクロミル

（注）本調査は、株式会社ワコール 広報・宣伝部と、

聖心女子大学文学部教授 菅原健介、東京未来大学こども心理学部講師 鈴木公啓との共同研究として実施したものです。

■菅原 健介(すがわら けんすけ) プロフィール

1958年東京都生まれ。横浜国立大学教育学部心理学科卒業。東京都立大学大学院人文科学研究科博士課程心理学専攻修了。文学博士。現在、聖心女子大学文学部教授。専門は社会心理学、性格心理学。研究テーマは羞恥心、対人不安、自己呈示。著書に『人はなぜ恥ずかしがるのか』（サイエンス社）、『羞恥心はどこへ消えた？』（光文社）、『下着の社会心理学』（朝日新聞出版）、編著書に『ひとの目に映る自己』（金子書房）など。

■鈴木公啓(すずき ともひろ) プロフィール

東洋大学大学院社会学研究科博士後期課程修了。博士（社会学）。現在、東京未来大学こども心理学部講師。専門は、性格心理学、社会心理学。主な研究テーマは、装い、ボディーイメージ、自己呈示。編著書に『パーソナリティ心理学概論』（ナカニシヤ出版）、共著に『ひとの目に映る自己』（金子書房）など。

2. 対象者属性

◇対象者のプロフィール

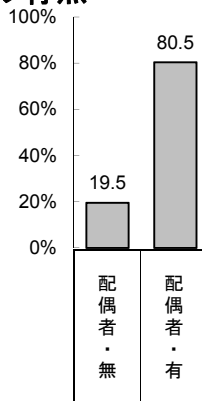
①年齢、配偶者の有無、家族構成

- ・本調査は男女55歳から74歳までの年齢層を対象にしており、対象者の年齢によって、55～59歳、60～64歳、65～69歳、70～74歳に分けて分析を進めました。
- ・配偶者の有無については、男女ともに約8割が既婚ですが、「未婚」は離死別を含むため、特に女性の70～74歳で多くなっています。
- ・家族構成では、男女ともに年代が高くなるほど「息子」や「娘」と同居する割合が減少します。男性の55～59歳や60～64歳は、1人暮らしの割合が他の年代に比べて高くなっています。

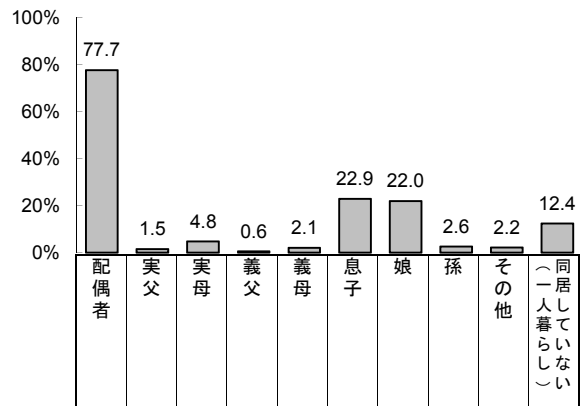
●年齢

凡例	N=	(%)			
		55-59歳 (306人)	60-64歳 (307人)	65-69歳 (304人)	70-74歳 (301人)
女性	(610)	25.2	25.3	25.0	24.5
男性	(608)	25.1	25.1	24.9	24.9

●配偶者の有無



●家族構成



		全体	配偶者・無	配偶者・有
		(1,218)	19.5	80.5
性年代別	女性計	(610)	23.1	76.9
	55～59歳	(153)	20.9	79.1
	60～64歳	(153)	22.9	77.1
	65～69歳	(152)	21.1	78.9
	70～74歳	(152)	27.6	72.4
	男性計	(608)	16.0	84.0
	55～59歳	(153)	22.2	77.8
	60～64歳	(154)	22.7	77.3
	65～69歳	(152)	11.2	88.8
70～74歳	(149)	7.4	92.6	

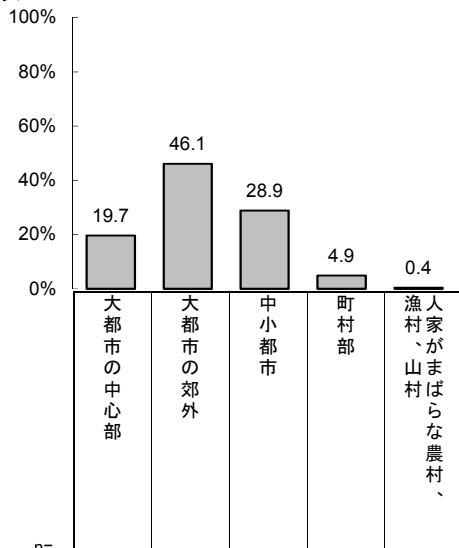
		全体	配偶者	実父	実母	義父	義母	息子	娘	孫	その他	(同居していない 一人暮らし)
		(1,218)	77.7	1.5	4.8	0.6	2.1	22.9	22.0	2.6	2.2	12.4
性年代別	女性計	(610)	73.9	0.7	4.1	0.7	1.6	23.9	22.3	2.6	2.5	11.5
	55～59歳	(153)	77.1	2.0	7.8	2.6	3.3	34.6	31.4	0.7	2.0	7.2
	60～64歳	(153)	73.2	0.7	4.6	0.0	2.6	22.9	26.8	2.6	2.0	12.4
	65～69歳	(152)	75.7	0.0	2.6	0.0	0.7	21.7	15.8	3.3	3.9	9.2
	70～74歳	(152)	69.7	0.0	1.3	0.0	0.0	16.4	15.1	3.9	2.0	17.1
	男性計	(608)	81.4	2.3	5.6	0.5	2.5	21.9	21.7	2.6	2.0	13.3
	55～59歳	(153)	71.2	5.9	13.1	1.3	2.6	28.1	32.7	1.3	3.3	17.6
	60～64歳	(154)	74.0	2.6	4.5	0.0	3.2	20.8	24.7	1.9	1.3	20.8
	65～69歳	(152)	87.5	0.7	4.6	0.7	3.9	19.7	15.8	2.6	2.6	9.2
70～74歳	(149)	93.3	0.0	0.0	0.0	0.0	18.8	13.4	4.7	0.7	5.4	

■…全体を10%以上上回る ■…全体を5%以上上回る

②居住地域、世帯年収、最終学歴、職業、退職時期

- ・居住地域は、全体として4割半ばが「大都市の郊外」に居住していると回答しています。
- ・平均世帯年収は、年代が高くなるほど低下の傾向がみられます。
- ・最終学歴は、女性は年代が高いほど「高等学校卒」が多く、年代が若いほど「短期大学卒」や「4年制大学卒」が多くなっています。一方、男性は年代にかかわらず「4年制大学卒」が最も多く、55～59歳では7割近くになります。
- ・職業は、女性は「もともと仕事はしていない」の割合が各年代で2～3割みられ、男性は55～59歳で「現在も仕事をしている」人が9割を超えています。
- ・退職時期は、女性は「20年以上前」が多いことから、結婚後、専業主婦として過ごしてきた人が2～3割存在することが考えられます。

●居住地域

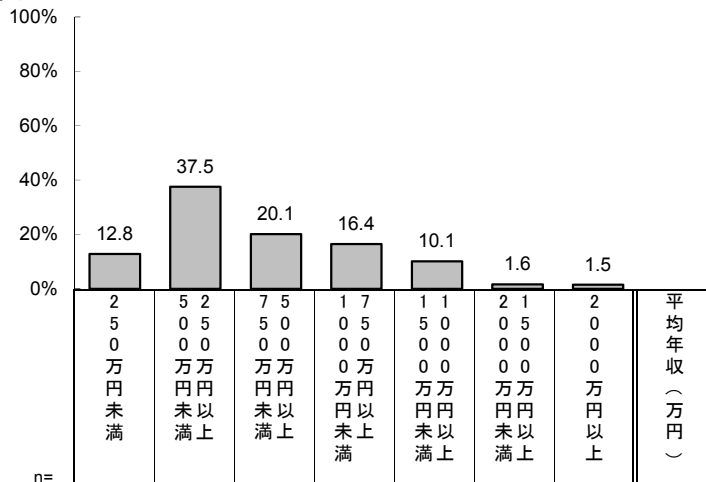


		n=	19.7	46.1	28.9	4.9	0.4
性年代別	全体	(1,218)	19.7	46.1	28.9	4.9	0.4
	女性計	(610)	22.5	43.4	28.0	5.6	0.5
	55～59歳	(153)	24.8	34.6	32.7	7.2	0.7
	60～64歳	(153)	18.3	45.8	29.4	6.5	0.0
	65～69歳	(152)	25.0	42.8	27.6	3.9	0.7
	70～74歳	(152)	21.7	50.6	22.4	4.6	0.7
	男性計	(608)	17.0	48.8	29.8	4.1	0.3
	55～59歳	(153)	12.4	55.6	25.5	5.2	1.3
	60～64歳	(154)	17.5	45.5	32.5	4.5	0.0
65～69歳	(152)	19.1	46.7	29.6	4.6	0.0	
70～74歳	(149)	18.8	47.7	31.5	2.0	0.0	

…全体を10%以上上回る
 …全体を5%以上上回る

※本項の設問：あなたが住んでいる場所は、以下のどれにもっともあてはまりますか？（単一回答）

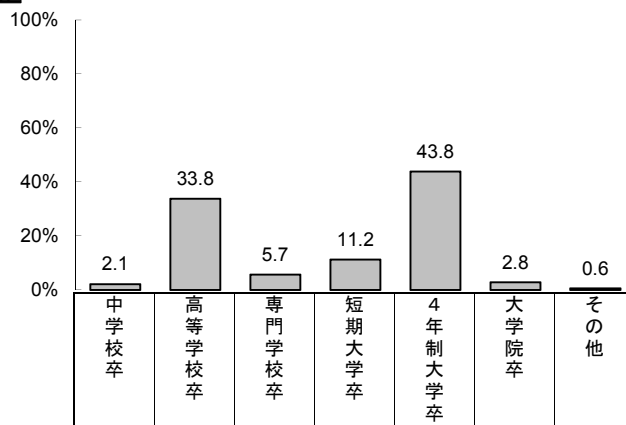
●世帯年収



n=		250,000円未満	500,000円未満	750,000円未満	100,000円未満	150,000円未満	200,000円未満	200,000円以上	平均年収 (万円)	
全体	(1,218)	12.8	37.5	20.1	16.4	10.1	1.6	1.5	625	
性年代別	女性計	(610)	12.6	39.4	18.9	17.2	8.5	1.6	1.8	619
	55～59歳	(153)	8.5	26.1	20.9	25.5	11.1	3.3	4.6	761
	60～64歳	(153)	11.8	37.9	18.3	19.0	9.2	1.9	1.9	640
	65～69歳	(152)	13.2	45.4	19.1	12.5	7.9	1.3	0.6	567
	70～74歳	(152)	17.1	48.0	17.1	11.9	5.9	0.0	0.0	507
	男性計	(608)	13.0	35.7	21.4	15.6	11.7	1.5	1.1	632
	55～59歳	(153)	9.8	16.4	20.3	23.5	22.2	3.9	3.9	843
	60～64歳	(154)	18.9	34.4	20.1	15.6	9.8	0.6	0.6	584
65～69歳	(152)	13.8	40.8	24.4	12.5	7.2	1.3	0.0	563	
70～74歳	(149)	9.4	51.7	20.8	10.7	7.4	0.0	0.0	534	

※本項の設問: あなたご自身を含むご家族の世帯年収(税込み)をお選びください。(単一回答)

●最終学歴

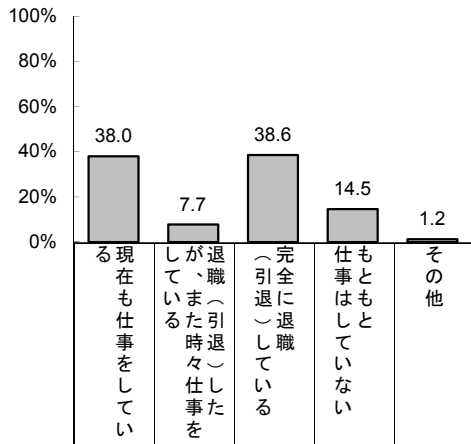


n=		中学校卒	高等学校卒	専門学校卒	短期大学卒	4年制大学卒	大学院卒	その他	
全体	(1,218)	2.1	33.8	5.7	11.2	43.8	2.8	0.6	
性年代別	女性計	(610)	1.5	43.9	8.0	20.0	25.4	0.7	0.5
	55～59歳	(153)	1.3	30.7	7.9	24.8	33.3	0.7	1.3
	60～64歳	(153)	0.6	41.2	7.8	19.6	28.1	2.0	0.7
	65～69歳	(152)	0.6	52.0	5.3	19.1	23.0	0.0	0.0
	70～74歳	(152)	3.3	52.0	11.2	16.4	17.1	0.0	0.0
	男性計	(608)	2.6	23.7	3.4	2.5	62.2	4.9	0.7
	55～59歳	(153)	0.6	21.6	2.0	2.6	67.3	5.2	0.7
	60～64歳	(154)	2.0	26.6	3.3	2.6	59.7	4.5	1.3
65～69歳	(152)	3.3	23.0	5.3	2.0	61.2	4.6	0.6	
70～74歳	(149)	4.7	23.5	3.3	2.7	60.4	5.4	0.0	

※本項の設問: あなたの最終学歴をお選びください。(単一回答)

■...全体を10%以上上回る ■...全体を5%以上上回る

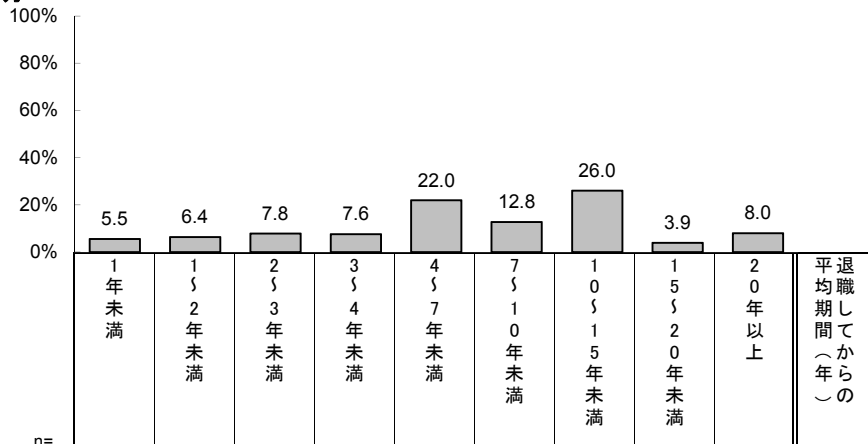
●職業



		n=	現在も仕事をしている	退社して職を引退した	完全引退している	仕事はしていない	その他
全体		(1,218)	38.0	7.7	38.6	14.5	1.2
性年代別	女性計	(610)	28.2	4.9	36.9	28.5	1.5
	55～59歳	(153)	43.8	5.3	23.5	26.1	1.3
	60～64歳	(153)	37.9	5.2	26.2	30.7	0.0
	65～69歳	(152)	21.7	5.3	41.4	30.9	0.7
	70～74歳	(152)	9.2	4.0	56.6	26.3	3.9
	男性計	(608)	47.9	10.5	40.3	0.3	1.0
	55～59歳	(153)	90.2	3.9	3.9	0.7	1.3
	60～64歳	(154)	51.9	13.0	33.8	0.0	1.3
	65～69歳	(152)	33.6	13.8	51.3	0.7	0.6
70～74歳	(149)	14.8	11.4	73.1	0.0	0.7	

※本項の設問：ご職業について、今のあなたは次の中のどの項目にもっともあてはまりますか？（パートも仕事に含めてお答えください）（単一回答）

●退職時期



		n=	1年未満	1～2年未満	2～3年未満	3～4年未満	4～7年未満	7～10年未満	10～15年未満	15～20年未満	20年以上	平均退職してから（年）
全体		(564)	5.5	6.4	7.8	7.6	22.0	12.8	26.0	3.9	8.0	9.0
性年代別	女性計	(255)	3.9	5.5	4.7	4.3	20.8	11.8	24.7	7.0	17.3	12.1
	55～59歳	(44)	2.3	9.1	6.8	6.8	18.2	6.8	18.2	2.3	29.5	12.7
	60～64歳	(48)	8.3	10.4	4.2	10.4	25.0	10.4	10.4	0.0	20.9	10.6
	65～69歳	(71)	5.6	5.6	5.6	0.0	28.2	16.9	16.9	9.9	11.3	10.8
	70～74歳	(92)	1.1	1.1	3.3	3.3	14.0	10.9	41.3	10.9	14.1	13.5
	男性計	(309)	6.8	7.1	10.4	10.3	23.0	13.6	27.2	1.3	0.3	6.6
	55～59歳	(12)	8.3	16.6	16.7	16.7	25.0	0.0	16.7	0.0	0.0	4.1
	60～64歳	(72)	16.6	15.3	18.1	19.4	20.8	2.8	5.6	1.4	0.0	3.5
	65～69歳	(99)	8.1	9.1	10.1	13.1	35.4	13.1	10.1	1.0	0.0	5.1
70～74歳	(126)	0.0	0.0	5.5	2.4	14.3	21.4	54.0	1.6	0.8	9.6	

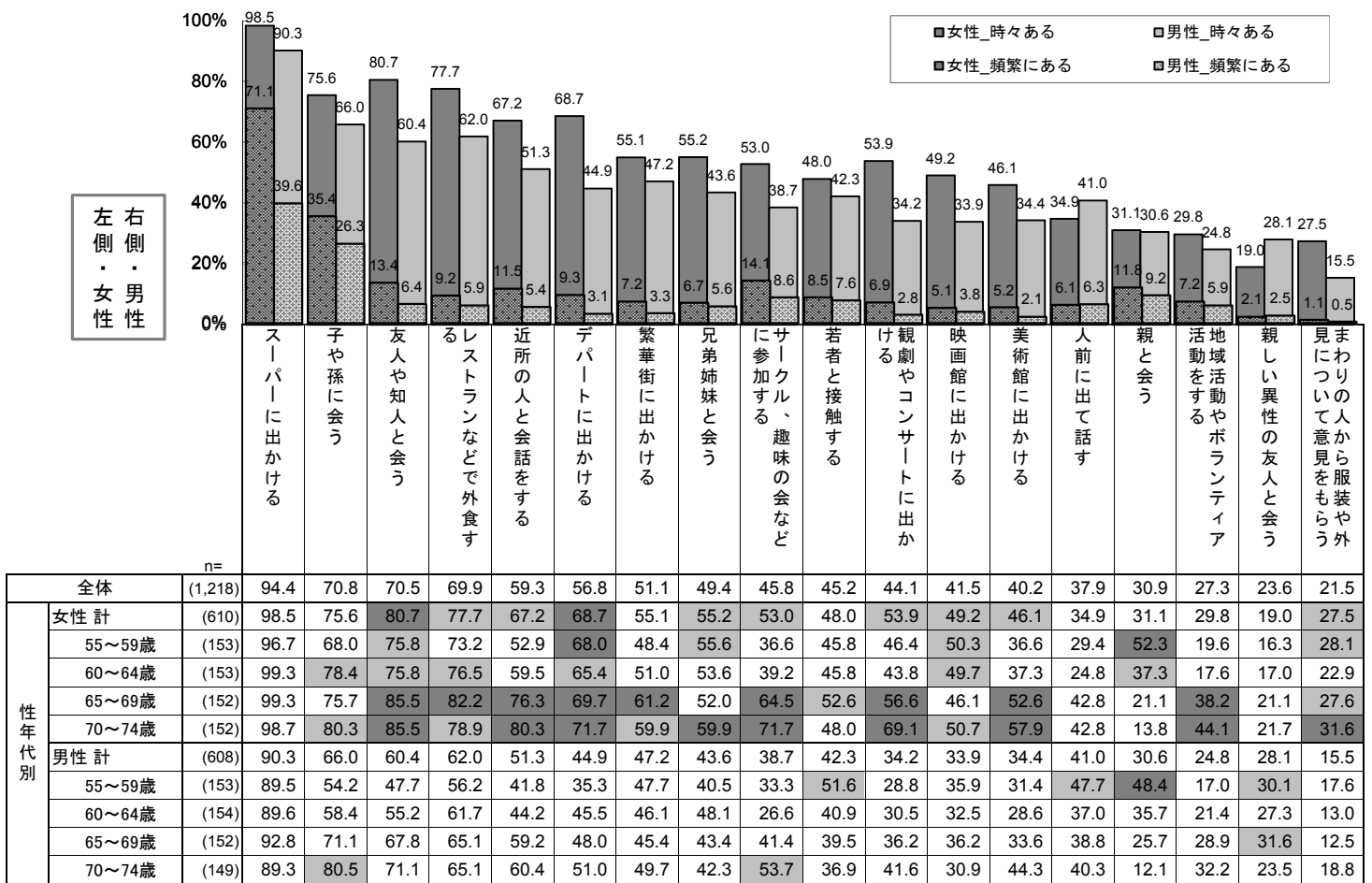
※本項の設問：退職（引退）した方にうかがいます。それはどのくらい前のことですか？（数値回答）

■…全体を10%以上上回る ■…全体を5%以上上回る

③ 普段おこなっている行動

【問】あなたは普段以下のようなことがどのくらいありますか？

- ・男女とも「スーパーに出かける」が最も高く、次いで女性は「友人や知人と会う」、男性は「子や孫に会う」が高くなっています。
- ・男性よりも女性の方が「友人や知人と会う」「デパートに出かける」「観劇やコンサートに出かける」などの理由で外出する人が多いようです。
- ・男女ともに年代が高いほど「友人や知人と会う」「近所の人と会話をする」「サークル、趣味の会などに参加する」など周囲と積極的に関わる人が多くなっています。



■...全体を10%以上上回る ■...全体を5%以上上回る

※本項の設問：あなたは普段以下のようなことがどのくらいありますか？あてはまる程度をお選びください。(単一回答)
 選択肢「まったくない」「あまりない」「時々ある」「頻繁にある」から、「頻繁に/時々ある」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

1. 調査の背景と目的

65歳以上の高齢者は1970年の時点で日本人の10人に1人にも満たなかったが、2013年には4人に1人を占めるに至り、今や社会を構成する主要なジェネレーションとなった。第一線を退いた後も、地域や私的なグループの中でそれぞれの役割を担い、また、高齢者人口の増加に伴って同世代間での交流も活発化している。かつての「隠居生活」という老後のイメージは薄れ、社会とアクティブに関わる「生涯現役」という生き方が注目されている。

高齢者の活躍の場が拡がる中、こうした状況を楽しむためには一定の自己管理も必要である。体力や健康をどう保つのかといった身体の管理はその最たるものであるが、同時に、人前での自分の姿やあり様、すなわち、「身だしなみ」も大切な要素であろう。見た目を美しく、清潔に保つことは社会的マナーとしても位置付けられ、その印象は日頃の対人関係にも大きく影響すると考えられる。

では、実際、高齢者たちは自分や他人の「身だしなみ」にどの程度関心を払っているのだろうか。身だしなみに気を遣う人とそうでない人にはどのような違いがあるのだろうか。私たちの研究グループ「cocoros(ココロス)」(※)では、65歳から74歳までの高齢者と55歳以上のミドル層を対象に調査を行い、「生涯現役」時代における中高年世代の外見やオシャレについて改めて考えてみることにした。

※cocoros(ココロス)とは、2004年に発足した「女性の心理と下着の関係」を社会科学的な手法で調査研究するプロジェクト

2. 主な結果

(1) 自分の身だしなみへの配慮

①「シャツの襟や袖の汚れ」「ぼさぼさの髪」「口臭」など多様な側面に関して、多くの人が身だしなみに配慮している。こうした配慮は年齢とともに低下することはなく、ラフな服装での外出を控えるといった面では、むしろ意識が高まる傾向も認められる。「高齢だから外見は気にしなくていい」という人は少数にとどまるようである。

②身だしなみに配慮する理由の第一は「エチケット」。他人に不快な思いをさせないことを重視している。その他にも、「家族や友人に恥をかかせたくない」「自分らしくいたい」「みんなの中で気持ちよく過ごしたい」、さらには「まだまだ元気であることを印象づけたい」などの理由を挙げる人も多く、いろいろな思いが身だしなみへの配慮を支えているようだ。

③身だしなみに気を遣う相手は、「目上の人」「初対面の相手」「気になる異性」などがまず挙げられる。しかし、同時に「久しぶりに会う知人、同僚、友人」、あるいは「サークルの仲間」「職場の同僚」など、同年代の目を気にする人が多いことも特徴である。同世代での交流活動が、重要な対人関係として意識されていることを物語っているように思われる。

④身だしなみに留意せずに外出するとすれば、どんな理由が考えられるかを尋ねてみたところ、「自由でいたい」「リラックス」「プライベートな時間を楽しみたい」など解放感を理由として挙げる人が多かった。身だしなみへの配慮は自己管理の一つであり、散歩や趣味の時間などで、時には力を抜く時間も大切にしているようだ。高齢者においてもオンとオフを使い分けている様子が見えてくる。

(2) 他人の身だしなみへの意識

- ① 電車・バス乗車時に、同世代の中高年の人たちに留意してほしいことを挙げてもらったところ、「口臭」や「体臭」、さらに「ヘアスプレーやコロンの香り」など、匂いに関する要望が多く挙げられた。その他、「鼻毛」「襟の汚れ」「伸びたままの爪」等々についても留意してほしいとする人の割合は高く、細かいところまで他人の様子が気になることが示されている。
- ② 身だしなみに配慮していない中高年に対するイメージは、「無精」「だらしない」といった当然の印象に加え、「あのようになりたくない」との回答が多かった。自分と比較する対象として同世代に関心を持っていることがうかがえる。また、「生活に疲れている」「みすぼらしい」や「老化」「不健康」など心身に問題を抱えている印象にもつながり、さらに、割合はやや低いものの、「衰れ」「痛々しい」「みじめ」といった卑下の感情をも喚起する。総じて言えば、身だしなみに配慮しないと、同世代から“負け組”のレッテルを貼られてしまうことになりそうだ。

(3) 男女の意識の差

① 身だしなみへの意識の違い

男女とも身だしなみに留意しているものの、比較するとその差は明らかである。ほぼどの項目に関しても配慮しているという割合は女性の方が高く、自身の外見や身だしなみを強く気遣っている様子がうかがえる。また、外出時、他者に留意して欲しい身だしなみについても、男性が他の男性に望む以上に女性からの要望は強く、特に、「しわやシミのある服」「体型に合わなくなった服」「色褪せた服」「季節感に合わない服」「色柄が合わない服」「地味すぎる服」など、いわゆるセンスのない服装の男性に対して厳しい目を向けている。

② 身だしなみに留意しない理由

身だしなみに留意せずに外出する理由を尋ねると、先述のように、全体としては、オンとオフとの使い分けに関連した回答が多い。ただ、男女を比較してみると、女性の場合には「他のことで忙しい」「疲れているから」「病気だから」といった心身の面での理由が多いが、男性では「いまさらこの歳で」「気を遣っても意味がない歳」といった回答が目立ち、年齢に伴う“諦め”、すなわち、リタイアの感覚を持つことが外見に構わなくなる動機となりやすいことが推測される。

(4) 身だしなみに配慮する人の特徴

今回得られたデータについて相互の関連性を総合的に分析したところ、身だしなみに配慮する人の特徴が浮かび上がってきた。まず、基本的な属性との関係を見ると、先に述べたように、男性よりも女性の方が、また年齢が高いほど身だしなみに気を遣っていることが確認されたが、年収は無関係であった。心理社会的な特徴としては次の4つが指摘できる。第一は世間体や体面に対する意識の高さである。近隣の人々や親戚、また友人等に対して恥ずかしくない自分であろうという気持ちが強い。第二に文化的な行動範囲の広さである。コンサートや観劇、映画、

美術館などに積極的に出かけている。第三に若さに対する価値づけである。外見の若さを保ち、若いファッションを身に付けたいという気持ちが強い。最後に幸福感の高さである。自分や自分を取り巻く人々との人間関係に対する満足感が高いことが示された。総じて言えば、年齢を意識せず、社会に対して積極的に関わり生活を楽しんでいる人たちであると言える。

(5) 下着と身だしなみ

「身だしなみを考えると下着もきちんとしたい」と考える人が、女性では8割、男性も7割いることが示された。また、この割合は年齢と共に高くなっていく。特に、高齢世代において、下着の持つ意味は大きいことが分かった。下着について特に強く意識されているのは、下着が見えたり、服の上にその形が浮き出たりしないようにという点であった。下着はあくまでプライベートな衣服である。社会的な場でそれがことさら存在感を示すことは、公私の区別をつけていないことを表しており、本人の社会性に対する疑問を生じさせることにつながると考えられる。また、高齢になるほど、下着が気になるのはそれが分からないほど老化してはいないことのアピールになるからとも考えられる。いずれにせよ、身だしなみを整えることは、他者のことを配慮して協調的に行動できることの証である。そうした意味で、身体や下着を他者に晒さないことは、最も基本的な身だしなみと言えるのかもしれない。

3. まとめ

中高年世代は、全体として身だしなみへの配慮を怠らない人が多く、また、そうした意識は年齢が高くなっても衰えることはないことが分かった。その背景には、同世代の人々が外見に対して厳しい目を向けているという現実があるのかもしれない。襟の汚れやムダ毛など、ちょっとした細かい点についても、同世代の他者にチェックされ、老いや健康の指標として評価されてしまう。こうした緊張感に前向きに対応している人たちが中高年世代の主流であることは、現代が「生涯現役」社会であることを物語っている。また、身だしなみに気を遣う人の特徴を調べてみると、高齢であることを理由に引きこもるのではなく、むしろ、自由な時間を使って友人たちと交わり、文化的なイベントを楽しもうとしている様子が浮かび上がってきた。上記で述べたように、良好な交友関係を保つためには、身だしなみに配慮する必要があるが、逆に、外見を整えることで自信が生まれ、他者との交流が促されるという関連性も想定できる。身だしなみは社会への初めの一歩であり、豊かな人生の第二幕を生きるための「鍵」になるのかもしれない。

今回の調査では、女性に比べると男性の身だしなみに対する意識がやや低いことも明らかになった。特に女性たちからは、男性の服装にオシャレ心を望んでいる様子がうかがえた。実際、身だしなみに気を配らない理由として、男性では「高齢」を理由とする人が多いことも見出された。仕事を持つ男性においては、第一線を退いた後、新たな舞台をなかなか見つけられない人もいる。新たな交友関係へのデビューのためにも、スーツの後の服装選びという点では本人の努力だけでなく、関連市場への期待は少なくないと思われる。

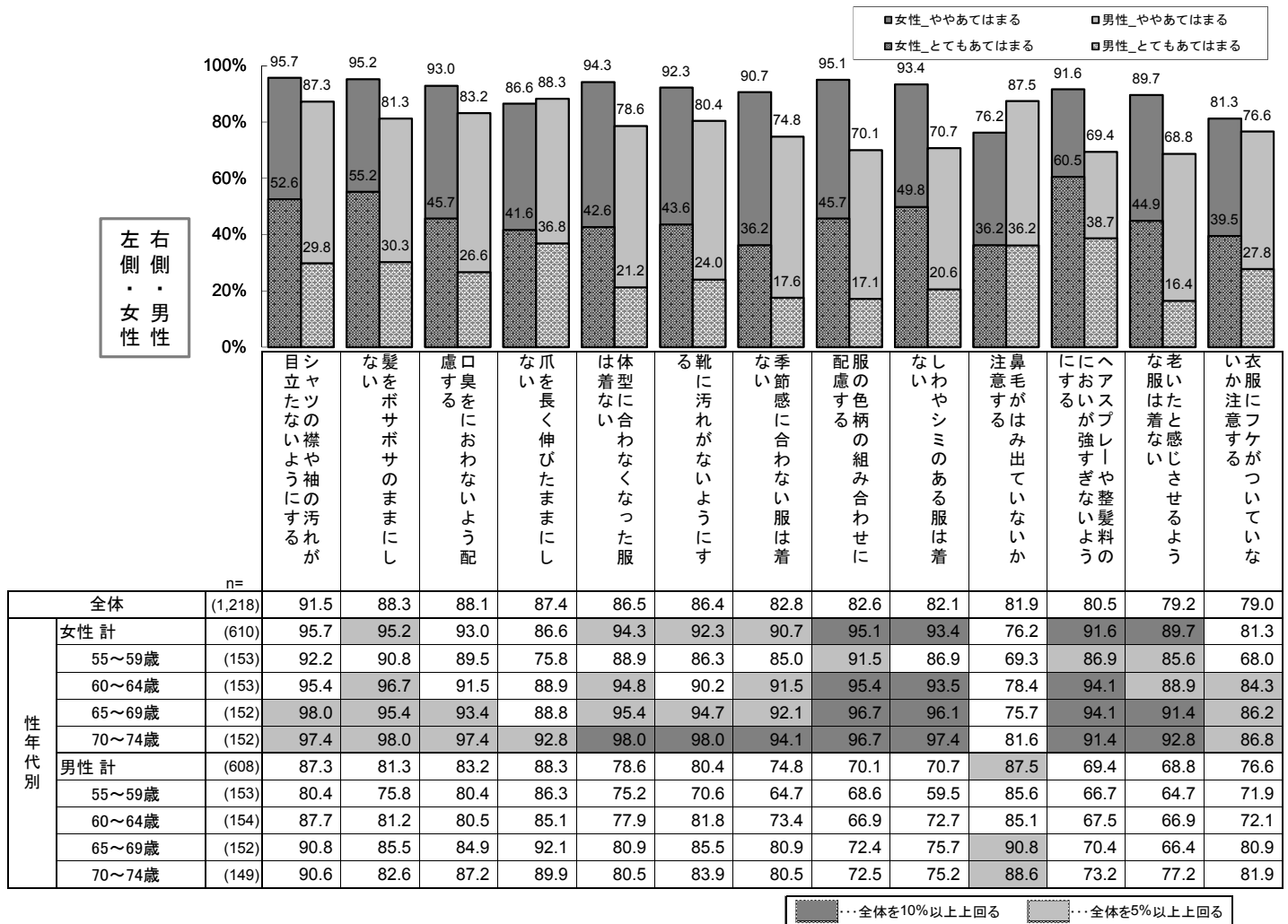
4. 外出時の身だしなみにおける意識について

(1) 普段の外出時の身だしなみで配慮していること

【問】あなたが電車やバスなどで外出するときの「外見や装い」として、普段、どのようなことに配慮していますか？

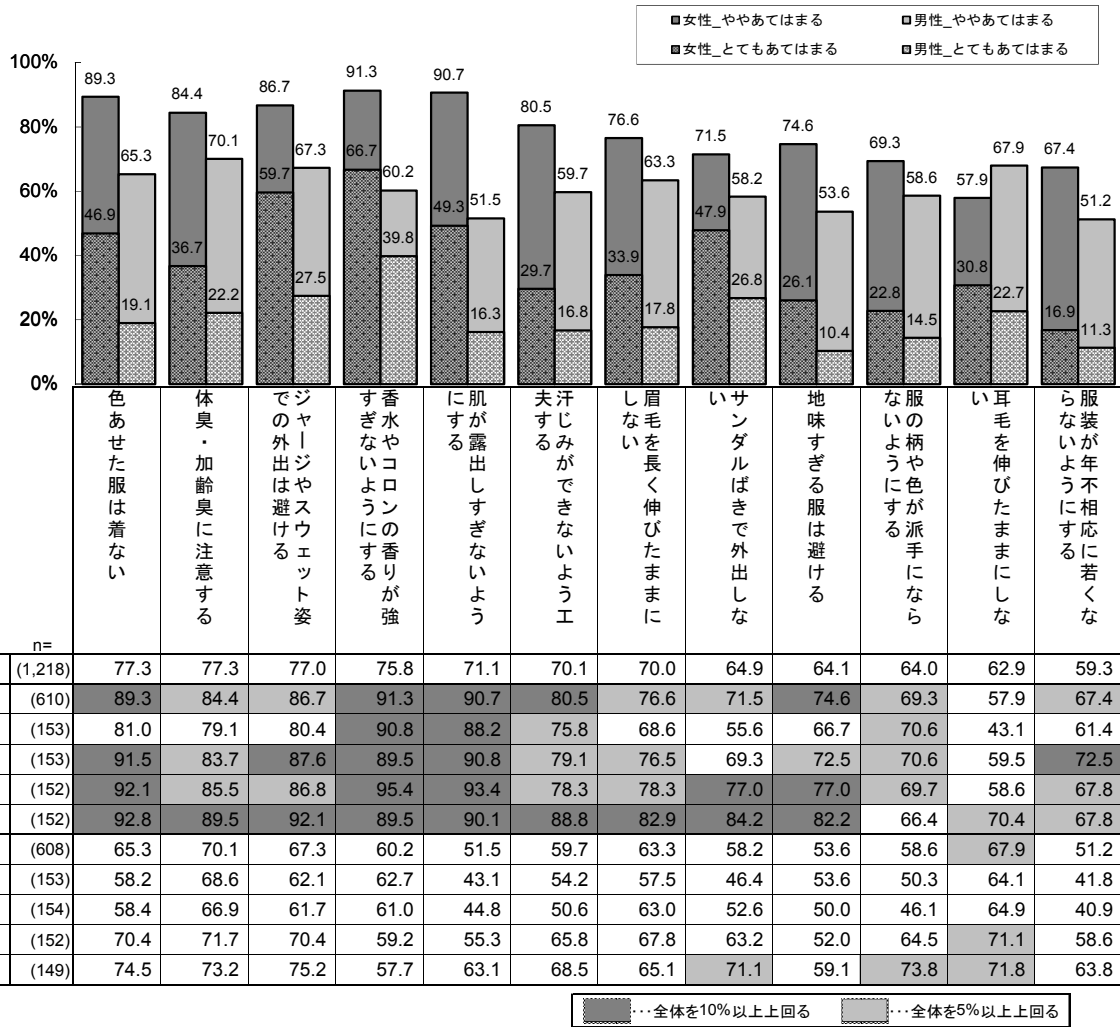
■男女とも服装や身だしなみには多くの点で配慮がみられる。

- ・男女ともに、年代が高くなるにつれて身だしなみへの配慮が高まる傾向がみられます。
- ・男性よりも女性の方が多くの点に配慮している人が多く、特に「肌が露出しすぎないようにする」「香水やコロンの香りが強すぎないようにする」を男性よりも配慮しています。
- ・女性は、特に服装や髪、爪や靴などの点で意識の高さがうかがえます。
- ・男性は、女性よりも「鼻毛がはみ出ていないか注意する」や「耳毛を伸びたままにしない」といった項目を気にしている人が多くなっています。



※本項の設問：あなたが電車やバスなどで外出するときの「外見や装い」として、普段、どのようなことに配慮していますか？（単一回答）
 選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

左側・女性
右側・男性



...全体を10%以上上回る ...全体を5%以上上回る

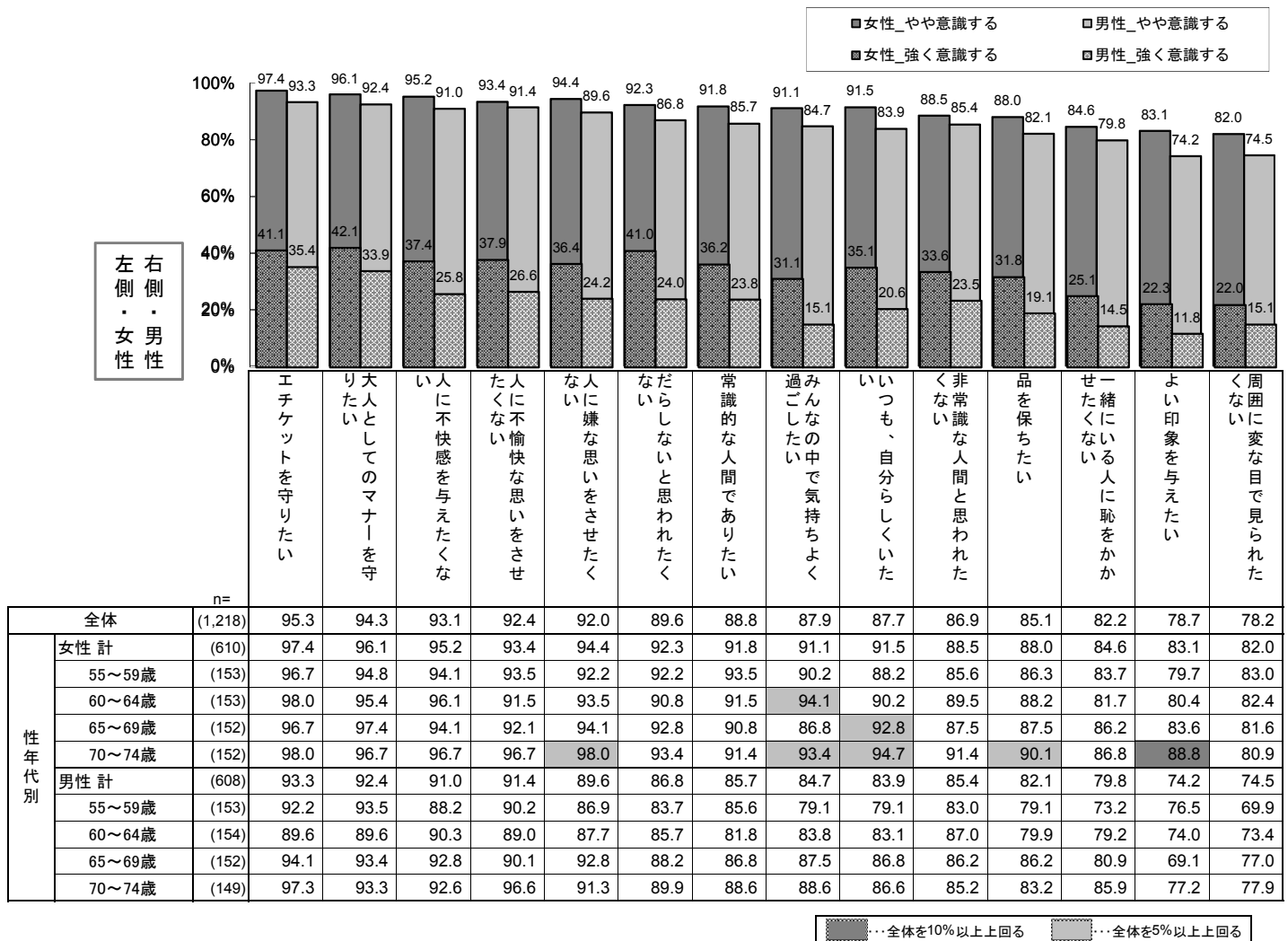
※本項の設問: あなたが電車やバスなどで外出するときの「外見や装い」として、普段、どのようなことに配慮していますか? (単一回答)
 選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(2) 普段の外出時に身だしなみを配慮している理由

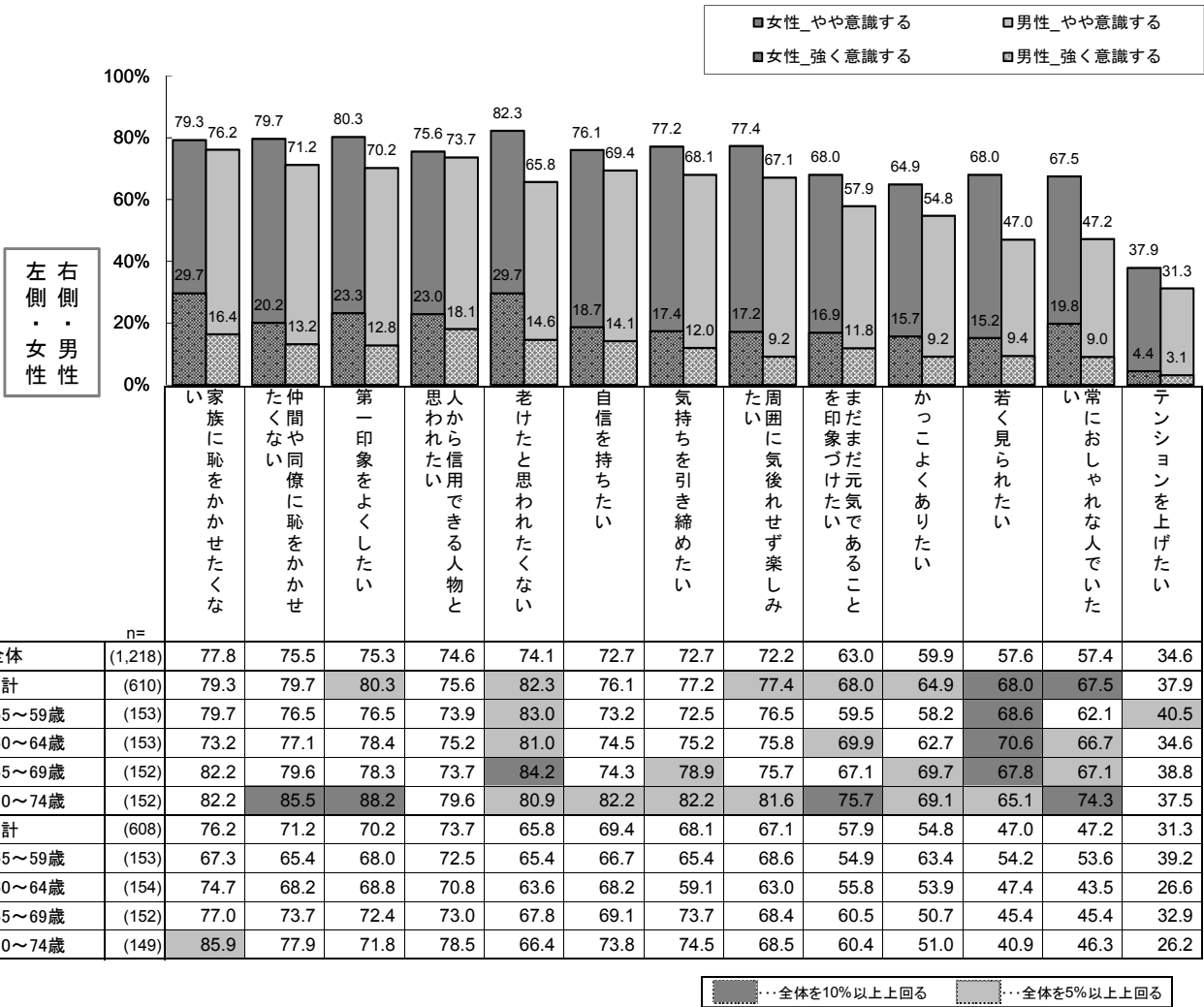
【問】電車やバスなどで外出するときの「外見や装い」ととのえる上で、あなたは普段、どのようなことを意識しますか？

■男女ともに「エチケットを守りたい」「人に不快感を与えたくない」「人に不愉快な思いをさせたくない」などの意識が高い。

- ・男性よりも女性の方が、特に「若く見られたい」「常におしゃれな人でいたい」「老けたと思われたくない」といったことを強く意識しているようです。



※本項の設問：電車やバスなどで外出するときの「外見や装い」ととのえる上で、あなたは普段、どのようなことを意識しますか？（単一回答）
 選択肢「まったく意識しない」「あまり意識しない」「やや意識する」「強く意識する」から、「強く/やや意識する」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。



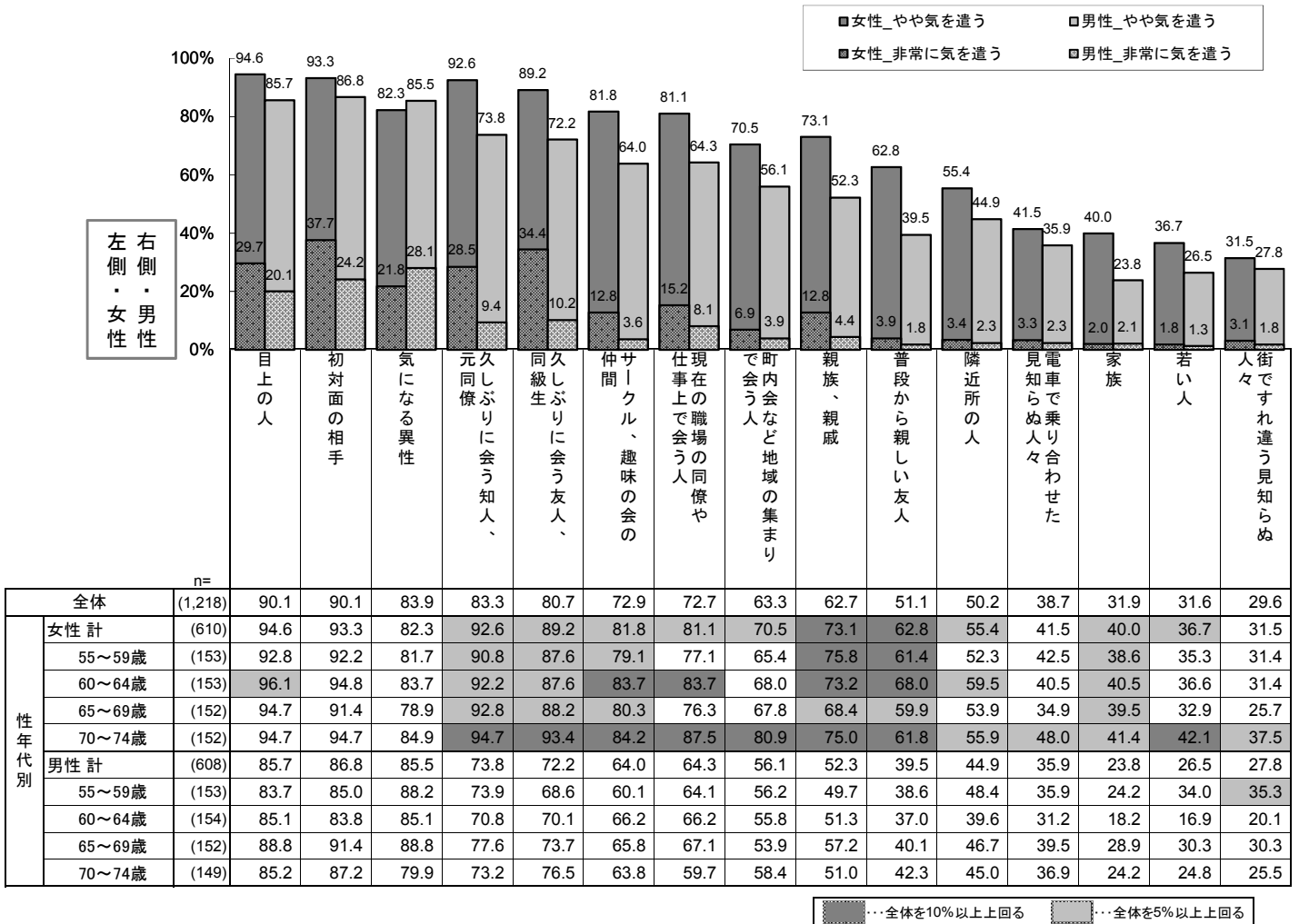
※本項の設問：電車やバスなどで外出するときの「外見や装い」ととのえる上で、あなたは普段、どのようなことを意識しますか？（単一回答）
 選択肢「まったく意識しない」「あまり意識しない」「やや意識する」「強く意識する」から、「強く/やや意識する」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(3)外出先で身だしなみに気を遣う相手

【問】外出先で以下のような人に会うとすれば、自身の「外見や装い」について、どの程度気を遣いますか？

■男女ともに「非常に気を遣う」「やや気を遣う」と回答した人が8割を超え、特に「目上の人」「初対面の相手」「気になる異性」に対して、身だしなみに気を遣っている。

- ・女性は男性よりも「普段から親しい友人」のほか、「親族、親戚」や「久しぶりに会う知人、元同僚」「サークル、趣味の会の仲間」など、普段からの付き合いのある身近な相手に対して気を遣う人が多くなっています。
- ・また、女性は「久しぶりに会う知人、元同僚」や「久しぶりに会う友人、同級生」「町内会など地域の集まりで会う人」においては、年代が高くなるほど気を遣う人が多いようです。



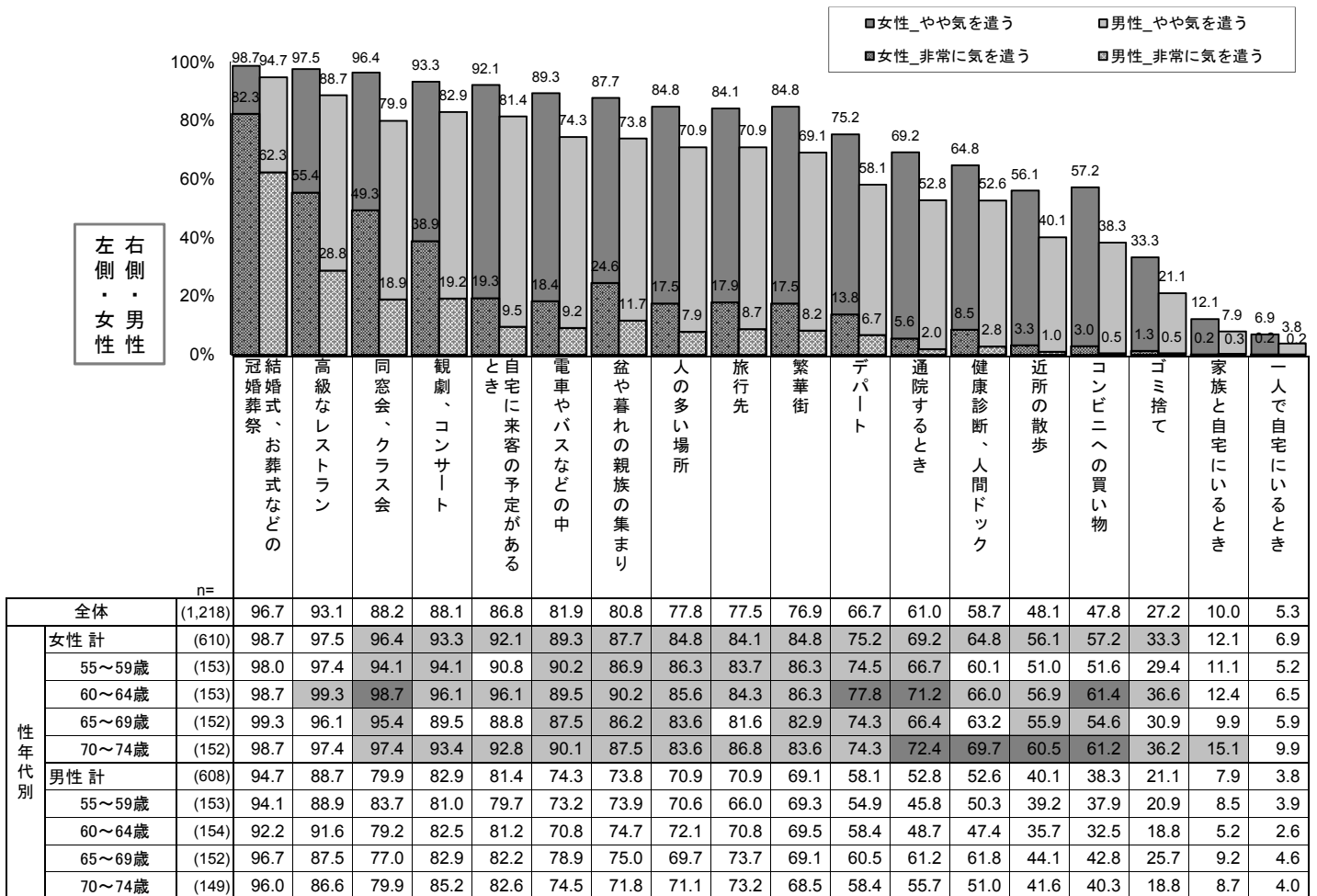
※本項の設問：外出先で以下のような人に会うとすれば、自身の「外見や装い」について、どの程度気を遣いますか？（単一回答）
 選択肢「まったく気を遣わない」「あまり気を遣わない」「やや気を遣う」「非常に気を遣う」から、「非常に/やや気を遣う」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(4)外出先で身だしなみに気を遣う場面や場所

【問】以下のような場面や、場所に出かけるとすれば、自身の「外見や装い」について、どの程度、気を遣いますか？

■男女ともに、9割前後の人が「冠婚葬祭」や「高級なレストラン」で身だしなみに気を遣っている。

- ・ 女性は他の項目でも気を遣う場面や場所が多く、特に「コンビニへの買い物」や「デパート」「同窓会、クラス会」などで気を遣っています。
- ・ また、女性は年代を問わず「ゴミ捨て」に出るときでも約3割の人が気を遣っています。



●...全体を10%以上上回る ●...全体を5%以上上回る

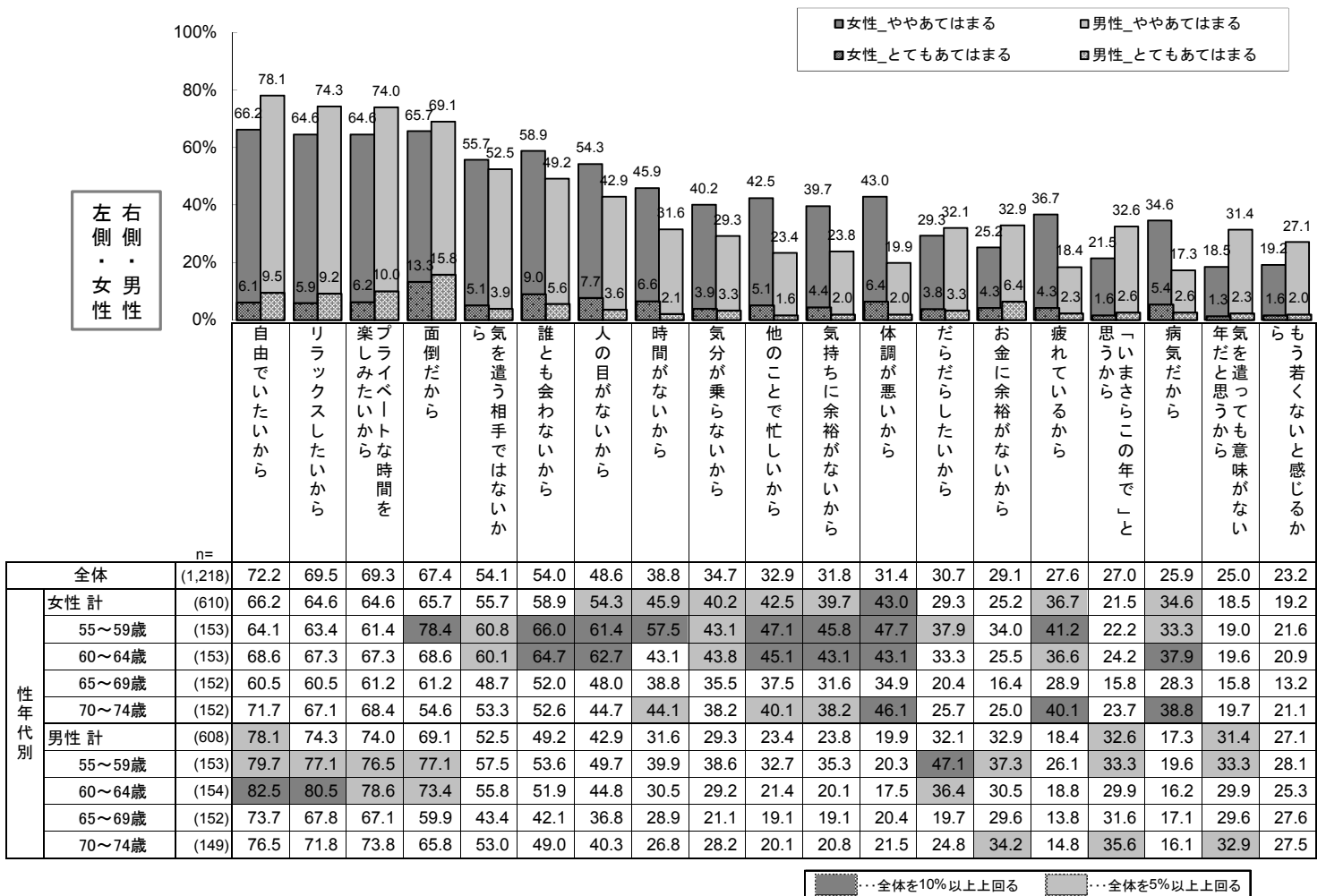
※本項の設問：以下のような場面や、場所に出かけるとすれば、自身の「外見や装い」について、どの程度、気を遣いますか？（単一回答）
 選択肢「まったく気を遣わない」「あまり気を遣わない」「やや気を遣う」「非常に気を遣う」から、「非常に/やや気を遣う」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(5) 身だしなみに気を遣わず外出する場合の理由

【問】あなたが「外見や装い」について配慮せずに外出してしまうとすれば、それはどのような理由からでしょうか？

■「自由でいたいから」や「リラックスしたいから」「プライベートな時間を楽しみたいから」といった解放感を求めることを理由にする人が、男女ともに6割を超えている。

- ・ 男性は女性よりも「自由でいたいから」や「リラックスしたいから」「プライベートな時間を楽しみたいから」といった理由で割合が高くなっているほか、「『いまさらこの年で』と思うから」なども高く、あきらめを理由にしている人も多いようです。
- ・ 一方、女性は男性よりも「体調が悪いから」や「病気だから」といった健康面の理由、「他のことで忙しいから」や「気持ちに余裕がないから」といった時間のなさからくる理由が高くなっています。



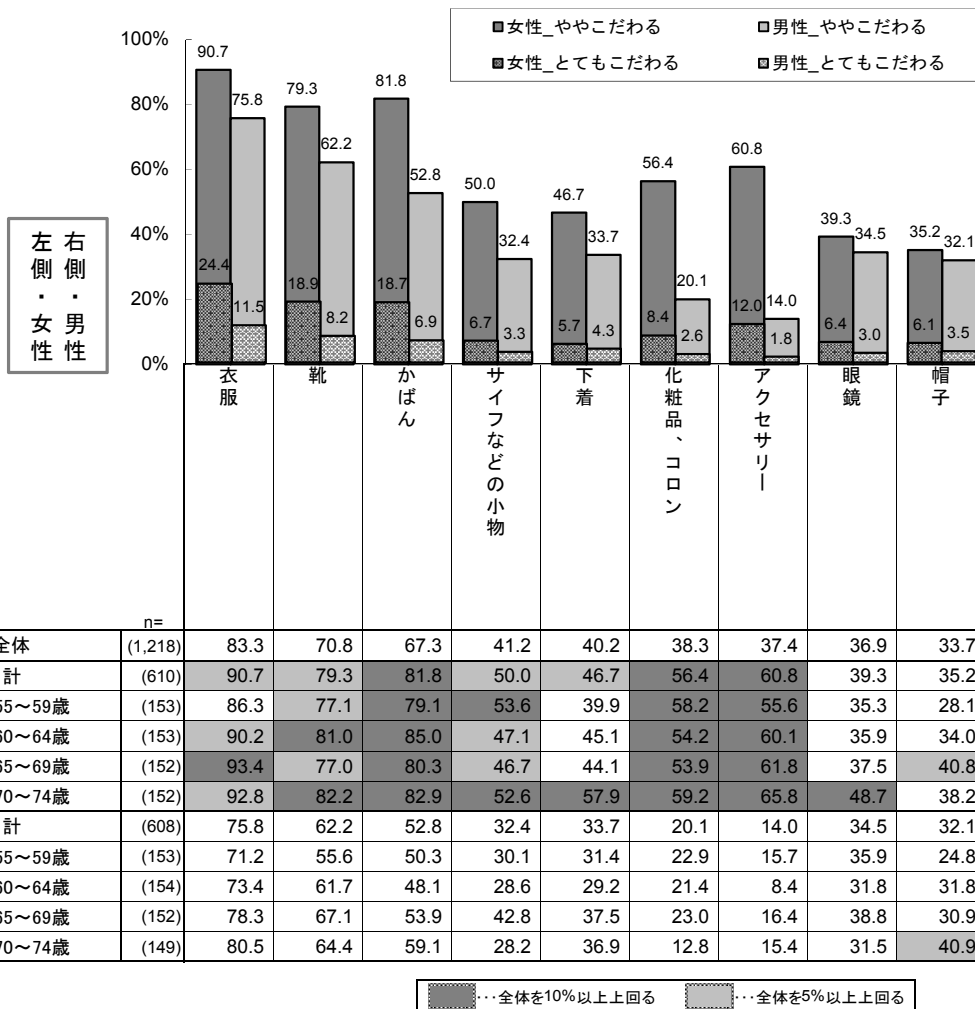
※本項の設問：あなたが「外見や装い」について、配慮せずに外出してしまうとすれば、それはどのような理由からでしょうか？（単一回答）
 選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(6)外出時におけるオシャレへのこだわり度合い

【問】あなたは電車やバスなどで外出するとき、以下のオシャレに、どの程度こだわりますか？

■男女ともに「衣服」「靴」「かばん」が上位となっており、男性よりも女性のこだわりの方が強い。

- ・女性は男性よりも「アクセサリー」や「化粧品、コロン」「かばん」にもこだわっており、また、オシャレへのこだわりは年代に関係なく強くなっています。
- ・女性は4割半ば、男性は3割前半が「下着」をオシャレのアイテムとしてこだわっているようです。



※本項の設問：あなたは電車やバスなどで外出するとき、以下のオシャレに、どの程度こだわりますか？こだわる程度をお選びください。（単一回答）
 選択肢「まったくこだわらない」「あまりこだわらない」「ややこだわる」「とてもこだわる」から、「とても/ややこだわる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

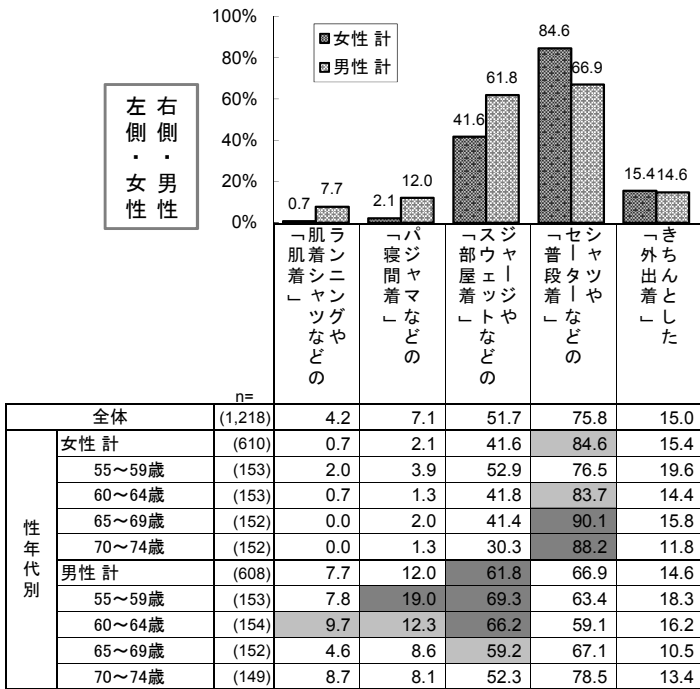
(7)各シーンにおける外出可能な服装

【問】①ゴミだしや新聞を取るために少しだけ外へ出る場合、②宅配便などを受け取る場合、③夜、歩いて2～3分のコンビニに買い物に行く場合、④電車やバスなどで外出をするとき、あなたはどのような格好なら出られるでしょうか？

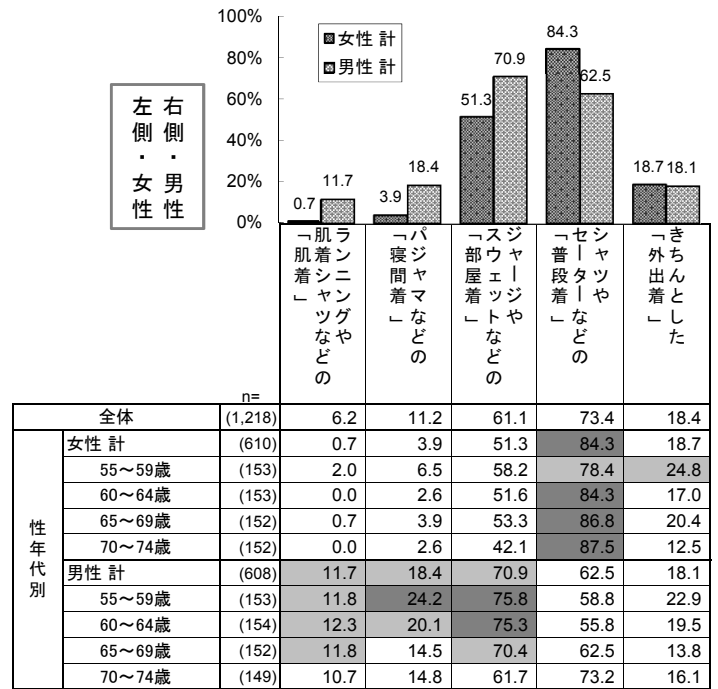
■男女ともに「ジャージやスウェットなどの部屋着」で外出可能であるのは、コンビニまでとなっている。

- ・いずれのシーンにおいても、男性よりも女性の方がきちんとした服装を選択する人が多くなっています。女性は、ゴミだしや宅配便の受領においては、8割強の人が「シャツやセーターなどの普段着」を着用し、男性は6～7割の人が「ジャージやスウェットなどの部屋着」を着用しています。
- ・また、電車、バスなどでの外出では、「きちんとした外出着」の割合が男女ともに最も高くなっていますが、男性は6割強が「シャツやセーターなどの普段着」でも外出が可能と回答しています。

●ゴミだし・新聞を取る



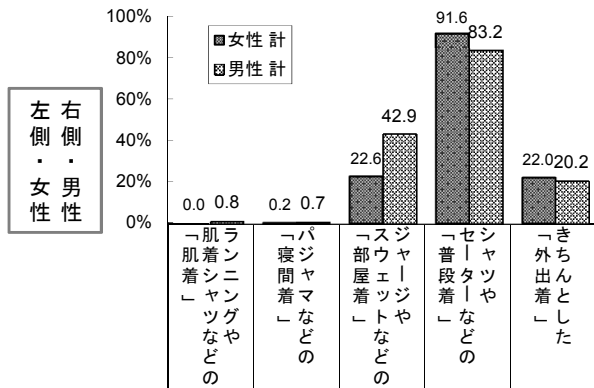
●宅配便などの受領



■…全体を10%以上上回る □…全体を5%以上上回る

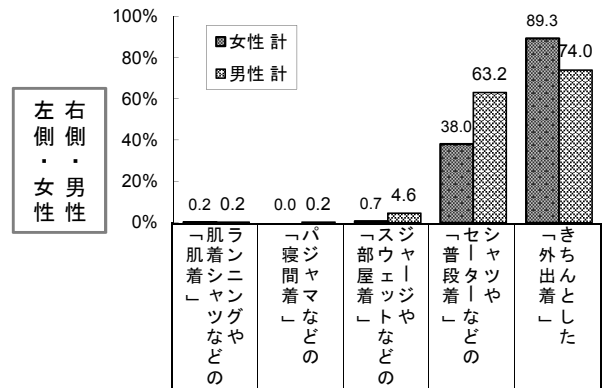
※本項の設問：①ゴミ出しや新聞を取るために少しだけ外へ出る場合、②宅配便などを受け取る場合、あなたはどのような格好なら出られるでしょうか？（複数回答）

●夜、徒歩2～3分のコンビニに行く



		n=	「肌着」	「ランニングシャツなどの」	「寝間着」	「ジャマなどの」	「スウェットや」	「セーターやシャツなどの」	「きちんとした外出着」
全体		(1,218)	0.4	0.4	0.4	32.8	87.4	21.1	
性年代別	女性計	(610)	0.0	0.2	0.2	22.6	91.6	22.0	
	55～59歳	(153)	0.0	0.7	29.4	88.9	28.8		
	60～64歳	(153)	0.0	0.0	21.6	92.2	18.3		
	65～69歳	(152)	0.0	0.0	20.4	91.4	24.3		
	70～74歳	(152)	0.0	0.0	19.1	94.1	16.4		
	男性計	(608)	0.8	0.7	42.9	83.2	20.2		
	55～59歳	(153)	2.0	1.3	49.0	79.7	29.4		
	60～64歳	(154)	0.6	0.6	52.6	76.0	18.8		
65～69歳	(152)	0.7	0.7	40.1	83.6	15.1			
70～74歳	(149)	0.0	0.0	29.5	94.0	17.4			

●電車、バスなどで外出をする



		n=	「肌着」	「ランニングシャツなどの」	「寝間着」	「ジャマなどの」	「スウェットや」	「セーターやシャツなどの」	「きちんとした外出着」
全体		(1,218)	0.2	0.1	2.6	50.6	81.7		
性年代別	女性計	(610)	0.2	0.0	0.7	38.0	89.3		
	55～59歳	(153)	0.0	0.0	0.7	48.4	85.6		
	60～64歳	(153)	0.0	0.0	0.7	37.9	90.8		
	65～69歳	(152)	0.0	0.0	0.7	33.6	92.8		
	70～74歳	(152)	0.7	0.0	0.7	32.2	88.2		
	男性計	(608)	0.2	0.2	4.6	63.2	74.0		
	55～59歳	(153)	0.7	0.7	6.5	76.5	66.0		
	60～64歳	(154)	0.0	0.0	4.5	67.5	67.5		
65～69歳	(152)	0.0	0.0	5.3	52.0	81.6			
70～74歳	(149)	0.0	0.0	2.0	56.4	81.2			

■…全体を10%以上上回る □…全体を5%以上上回る

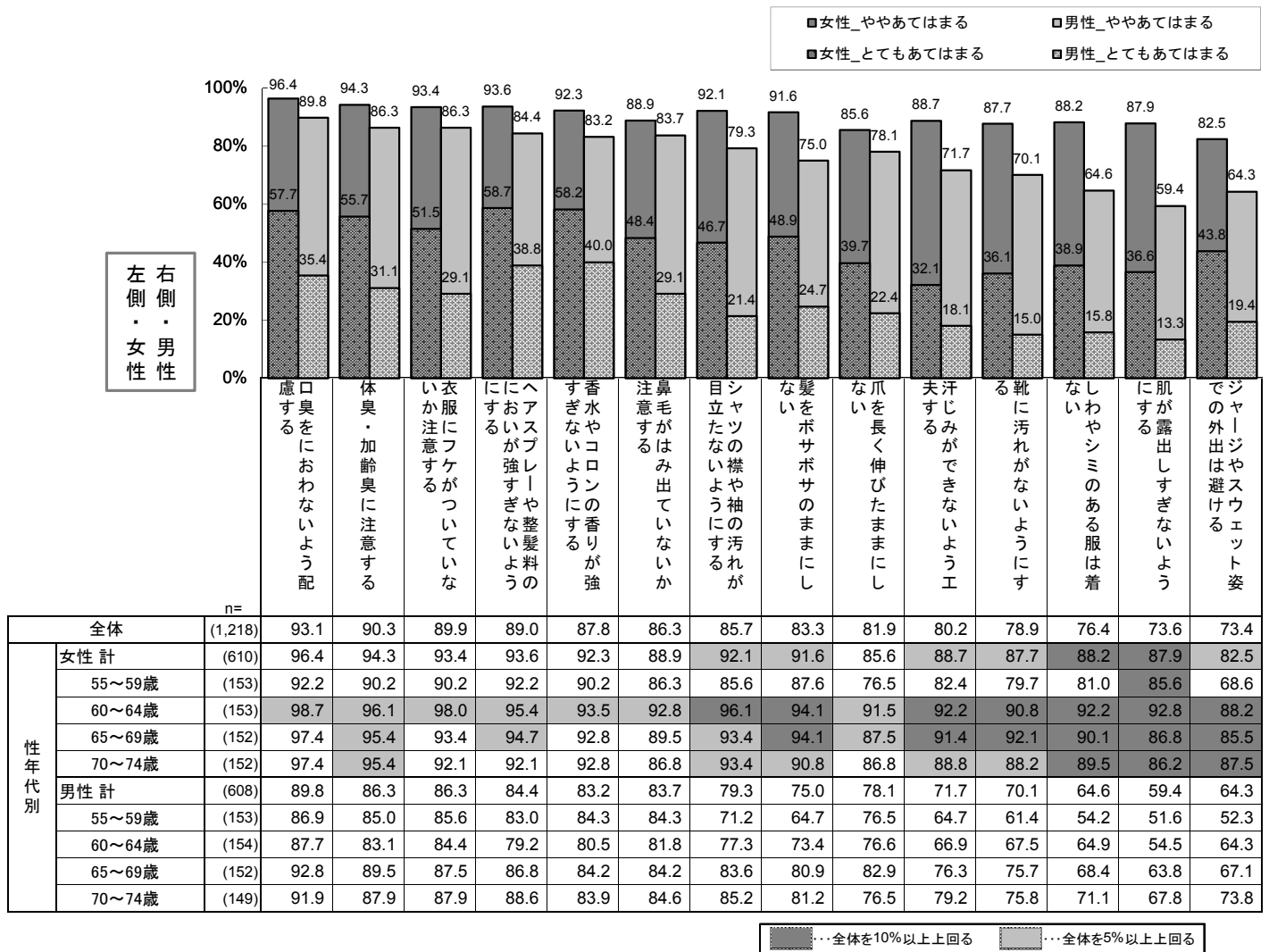
※本項の設問：③夜、歩いて2～3分のコンビニに買い物に行く場合、④電車やバスなどで外出をするとき、あなたはどのような格好なら出られるでしょうか？（複数回答）

(8) 電車・バス乗車時に「中高年の男性」に留意して欲しいこと

【問】あなたが電車やバスに乗ったとき、乗り合わせた他の中高年の男性に、どう「外見や装い」に留意して欲しいと思いますか？

■男女ともに「口臭」「体臭」が上位となっている。また、女性は男性よりも「服のマナー」や「見た目」について気にしている人が多い。

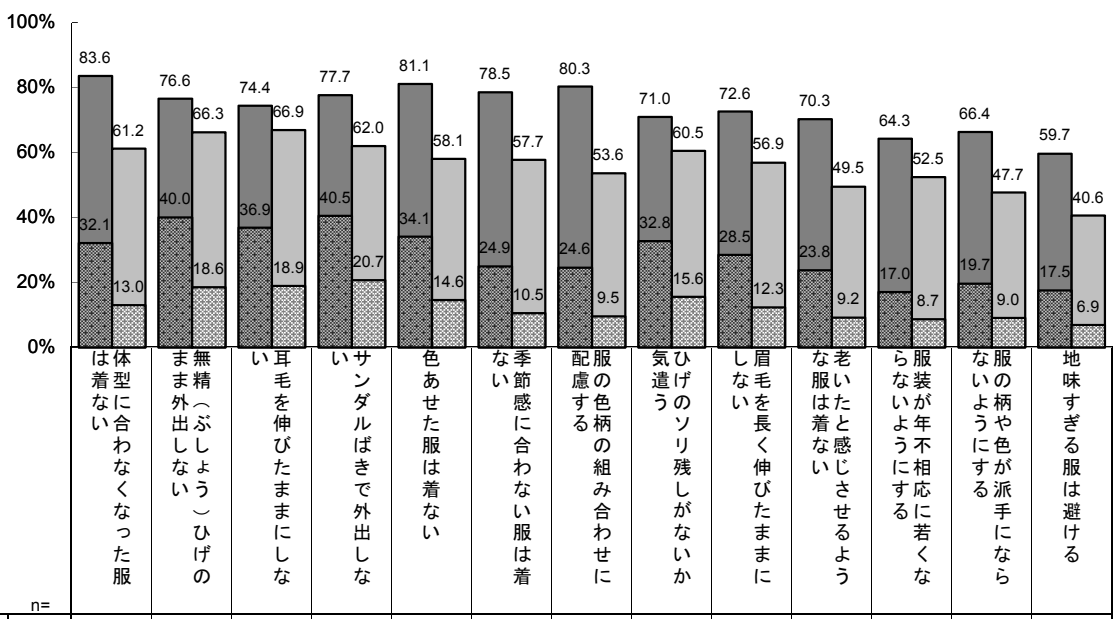
- ・特に男性よりも異性である女性の方が厳しい目を向けており、「肌が露出しすぎないようにする」のほか、「服の色柄の組み合わせに配慮する」や「しわやシミのある服は着ない」といった服に関する配慮を求めています。
- ・女性の60～64歳では、多くの項目で男性の「外見や装い」に留意して欲しい割合が高くなっています。



※本項の設問：あなたが電車やバスに乗ったとき、乗り合わせた他の中高年の男性に、どう「外見や装い」に留意して欲しいと思いますか？（単一回答）
 選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

左側
・
右側
・
女性
・
男性

■女性_ややあてはまる □男性_ややあてはまる
■女性_とてもあてはまる □男性_とてもあてはまる



		n=	72.4	71.4	70.7	69.9	69.6	68.1	67.0	65.8	64.8	59.9	58.4	57.1	50.2
性年代別	全体	(1,218)	72.4	71.4	70.7	69.9	69.6	68.1	67.0	65.8	64.8	59.9	58.4	57.1	50.2
	女性計	(610)	83.6	76.6	74.4	77.7	81.1	78.5	80.3	71.0	72.6	70.3	64.3	66.4	59.7
	55~59歳	(153)	79.7	68.6	67.3	61.4	73.2	69.9	70.6	64.1	62.7	58.2	56.9	60.8	51.6
	60~64歳	(153)	83.0	81.0	75.8	83.0	81.7	83.0	83.7	74.5	80.4	73.2	69.3	75.2	62.1
	65~69歳	(152)	86.2	79.6	75.7	81.6	84.2	80.9	84.2	73.7	71.7	73.7	65.1	64.5	61.2
	70~74歳	(152)	85.5	77.0	78.9	84.9	85.5	80.3	82.9	71.7	75.7	76.3	65.8	65.1	63.8
	男性計	(608)	61.2	66.3	66.9	62.0	58.1	57.7	53.6	60.5	56.9	49.5	52.5	47.7	40.6
	55~59歳	(153)	58.8	52.3	62.7	51.0	51.6	51.0	51.0	49.0	54.9	44.4	44.4	42.5	40.5
	60~64歳	(154)	55.2	63.6	66.2	55.2	53.9	53.9	49.4	60.4	56.5	42.2	44.2	43.5	34.4
	65~69歳	(152)	62.5	73.0	69.1	68.4	63.2	61.8	57.2	63.2	58.6	53.9	56.6	46.7	42.1
70~74歳	(149)	68.5	76.5	69.8	73.8	63.8	64.4	57.0	69.8	57.7	57.7	65.1	58.4	45.6	

■...全体を10%以上上回る □...全体を5%以上上回る

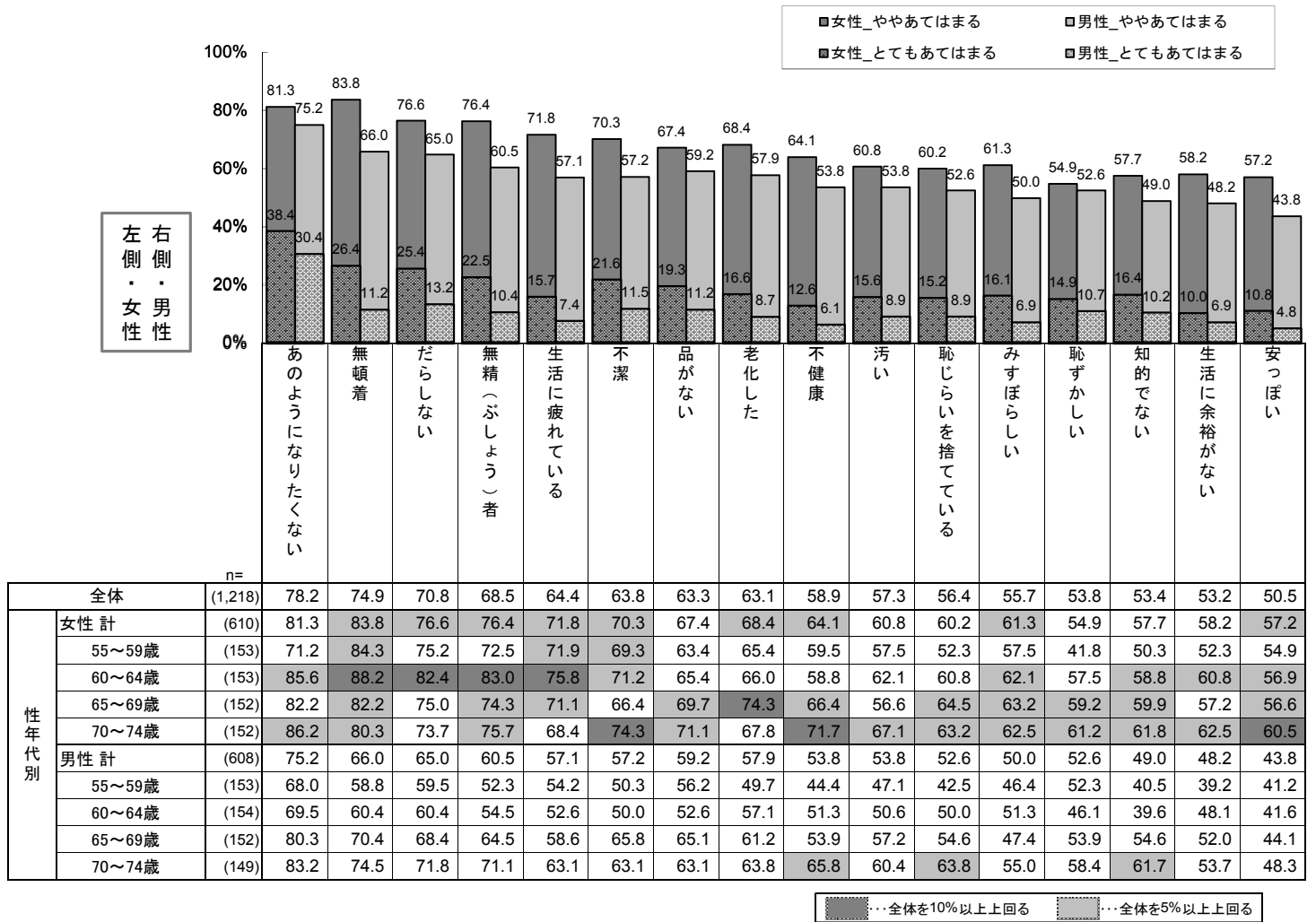
※本項の設問: あなたが電車やバスに乗ったとき、乗り合わせた他の中高年の男性に、どう「外見や装い」に留意して欲しいと思いますか? (単一回答)
 選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(9) 配慮していない「中高年の男性」に対する印象

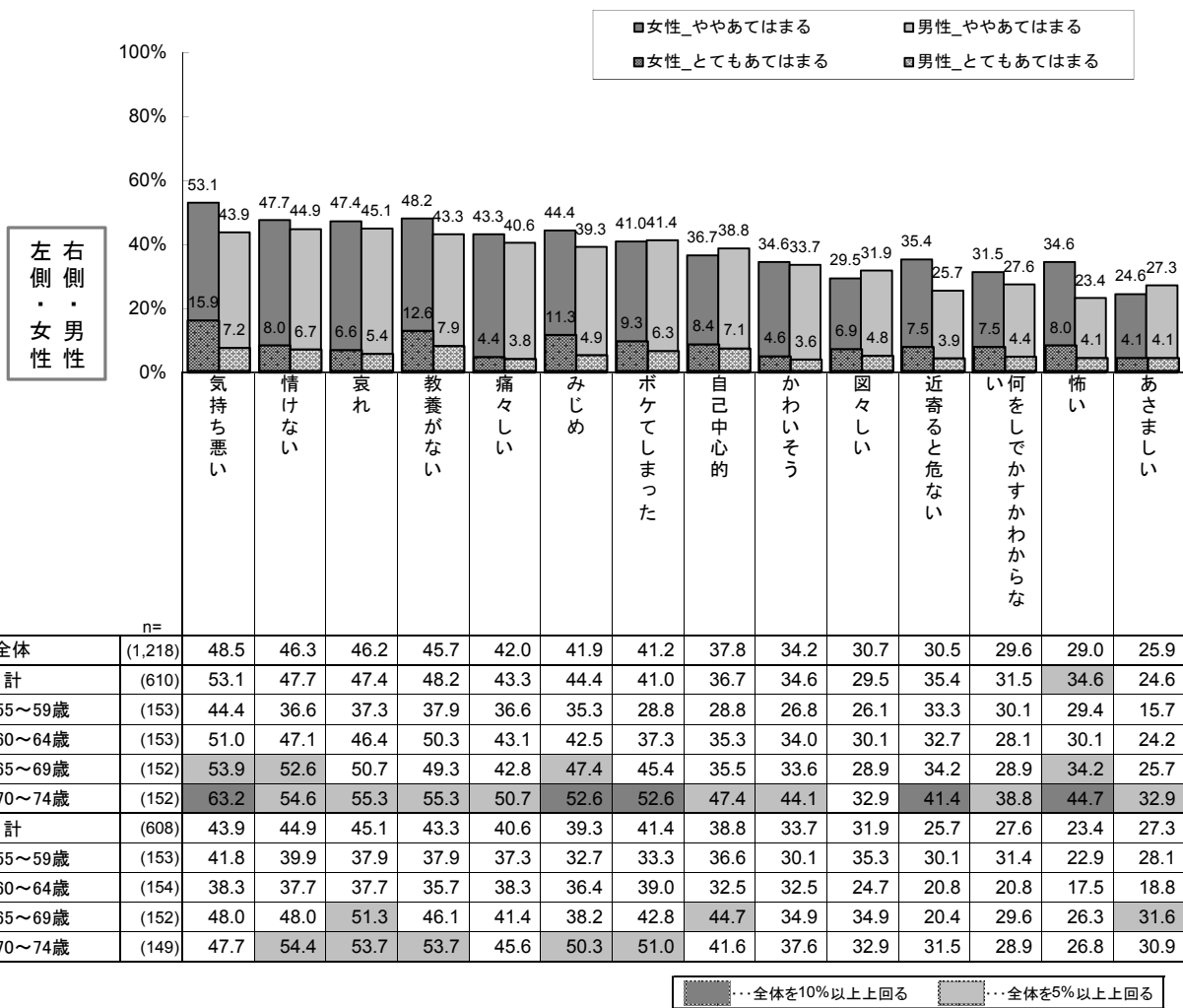
【問】前問で留意して欲しいと思うことに対して、配慮していない中高年男性と同じ電車に乗り合わせたとしたら、あなたは、その人に対してどのような印象を持ちますか？

■男女ともに「無頓着」「あのようになりたくない」「だらしない」と感じている人が多い。特に女性は、男性よりも「無頓着」や「無精者」「生活に疲れている」といった印象を強く持っている。

- ・年代が高くなるほど女性は男性よりも「品がない」「恥じらいを捨てている」「恥ずかしい」などの感情を持つ人が多くなる傾向があります。さらに、「怖い」「近寄ると危ない」といった危険な印象も持たれているようです。



※本項の設問：前問で留意して欲しいと思うことに対して、配慮していない中高年男性と同じ電車に乗り合わせたとしたら、あなたは、その人に対してどのような印象を持ちますか？（単一回答）
 選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。



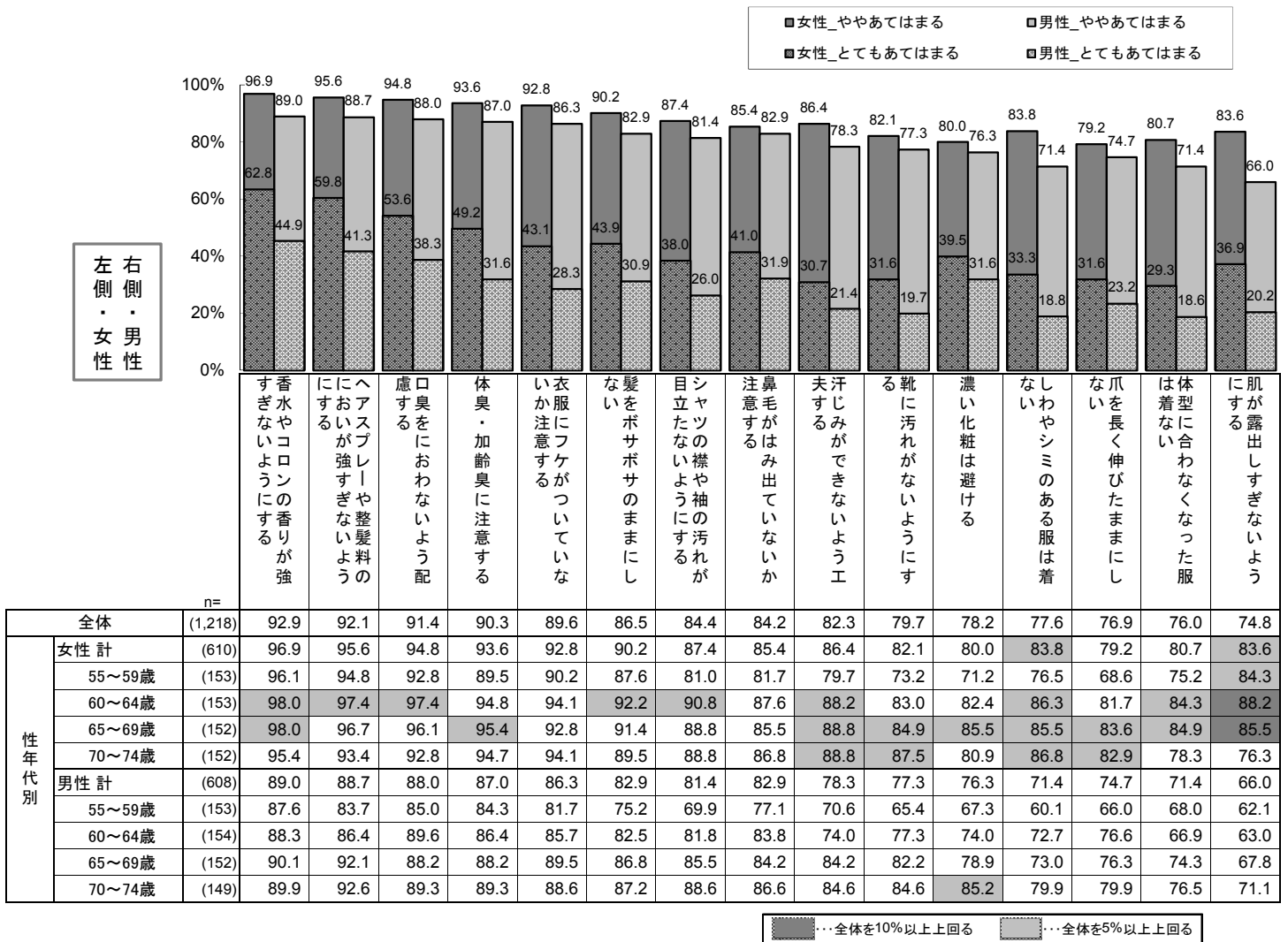
※本項の設問：前問で留意して欲しいと思うことに対して、配慮していない中高年男性と同じ電車に乗り合わせたとしたら、あなたは、その人に対してどのような印象を持ちますか？（単一回答）
 選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(10) 電車・バス乗車時に「中高年の女性」に留意して欲しいこと

【問】あなたが電車やバスに乗ったとき、乗り合わせた他の中高年の女性に、どう「外見や装い」に留意して欲しいと思いますか？

■「中高年の女性」に対しては、「香水」や「ヘアスプレー」などの「外見や装い」において気をつけて欲しいと感じる人が多い。

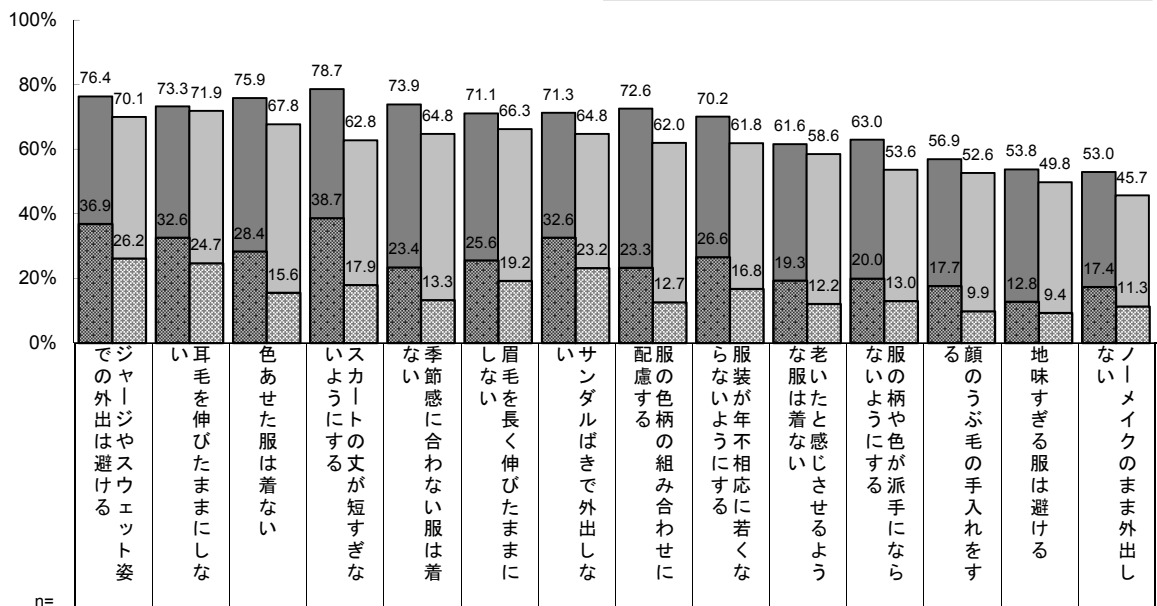
- ・男性よりも同性である女性の方が、「外見や装い」について多くの点に留意して欲しいと感じているようです。特に、「肌が露出しすぎないようにする」や「スカートの丈が短すぎないようにする」など、肌の露出について男性よりも気になっている人が多くなっています。



※本項の設問：あなたが電車やバスに乗ったとき、乗り合わせた他の中高年の女性に、どう「外見や装い」に留意して欲しいと思いますか？（単一回答）
 選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

左側・女性
右側・男性

■女性_ややあてはまる □男性_ややあてはまる
■女性_とてもあてはまる □男性_とてもあてはまる



		n=	全体	女性計	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	男性計	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳
		(1,218)	73.2	72.6	71.8	70.8	69.4	68.7	68.1	67.3	66.0	60.1	58.3
性年代別	女性計	(610)	76.4	73.3	75.9	78.7	73.9	71.1	71.3	72.6	70.2	61.6	63.0
	55~59歳	(153)	66.0	64.1	71.2	69.3	66.0	63.4	58.2	64.7	68.6	51.0	60.8
	60~64歳	(153)	79.1	77.1	78.4	83.0	77.8	75.2	70.6	76.5	74.5	61.4	69.3
	65~69歳	(152)	79.6	75.0	76.3	84.9	80.3	69.7	76.3	75.7	71.7	67.1	61.2
	70~74歳	(152)	80.9	77.0	77.6	77.6	71.7	76.3	80.3	73.7	65.8	67.1	60.5
	男性計	(608)	70.1	71.9	67.8	62.8	64.8	66.3	64.8	62.0	61.8	58.6	53.6
	55~59歳	(153)	58.8	64.1	60.8	54.2	58.2	55.6	51.6	54.9	58.2	54.9	51.0
	60~64歳	(154)	68.8	74.0	63.0	57.1	64.9	67.5	63.0	59.1	57.8	54.5	51.9
65~69歳	(152)	73.0	72.4	69.7	65.1	67.8	68.4	69.7	64.5	64.5	56.6	53.9	
70~74歳	(149)	79.9	77.2	77.9	75.2	68.5	73.8	75.2	69.8	67.1	68.5	57.7	

■...全体を10%以上上回る ■...全体を5%以上上回る

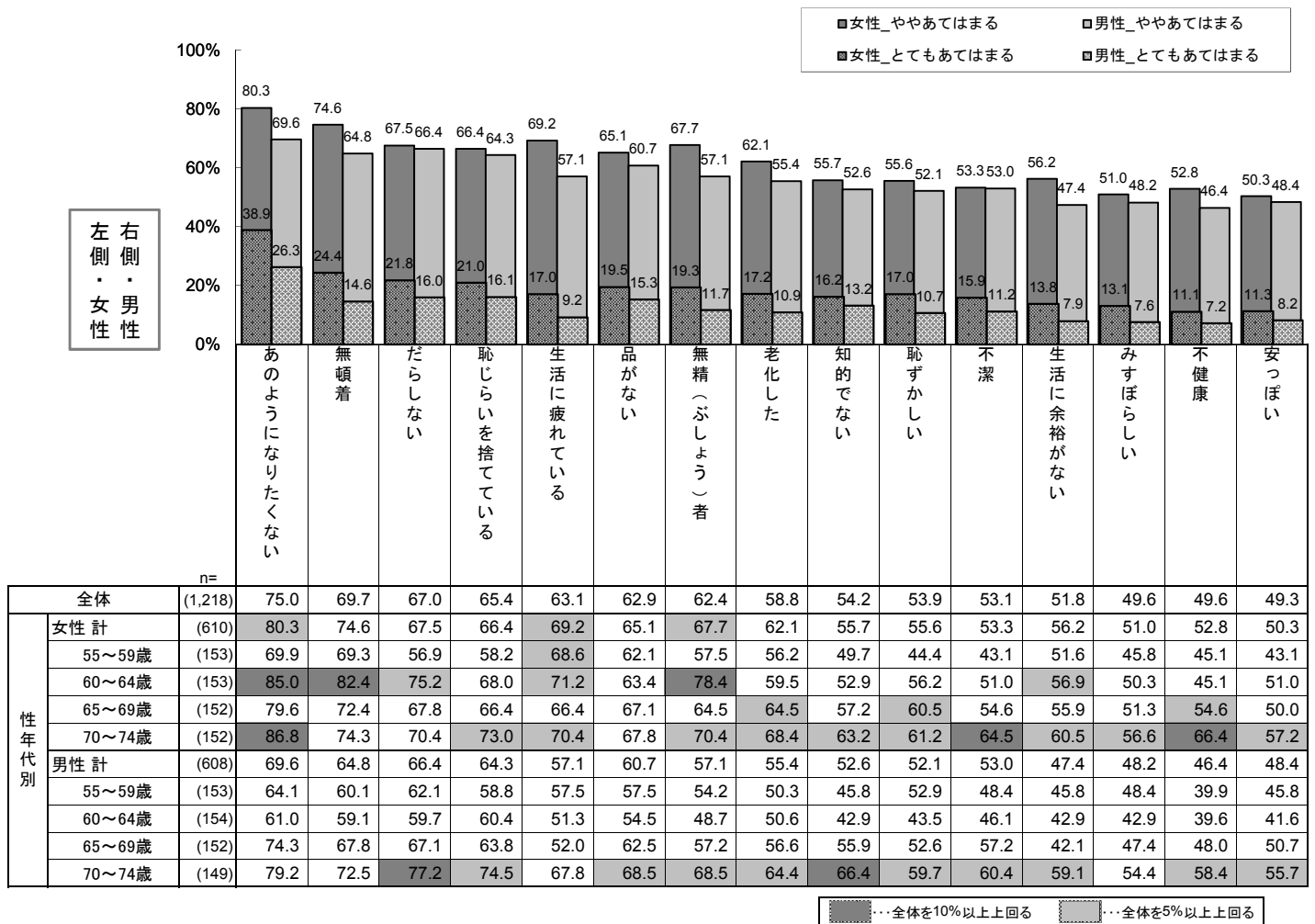
※本項の設問: あなたが電車やバスに乗ったとき、乗り合わせた他の中高年の女性に、どう「外見や装い」に留意して欲しいと思いますか? (単一回答)
選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(11) 配慮していない「中高年の女性」に対する印象

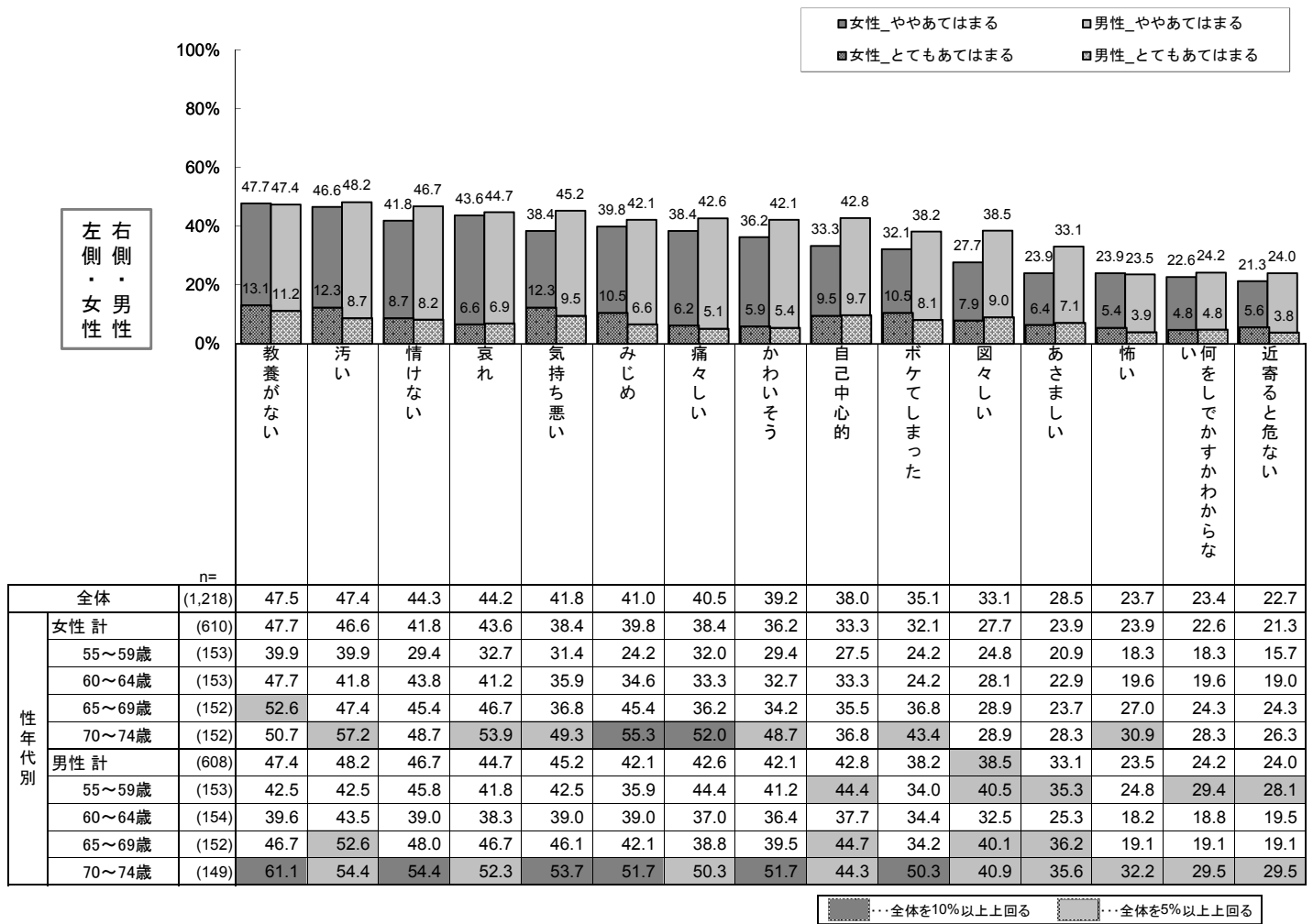
【問】前問で留意して欲しいと思うことに対して、配慮していない中高年女性と同じ電車に乗り合わせたとしたら、あなたは、その人に対してどのような印象を持ちますか？

■男女ともに「あのようになりたくない」「無頓着」「だらしない」と感じている人が多い。

- ・女性より男性よりも「生活に疲れている」「無精者」「無頓着」などの印象を持つ人が多い一方、男性は女性よりも「凶々しい」「自己中心的」「あさましい」などの印象を持つ人が多くなっています。
- ・また、男女ともに年代が高くなるほど「老化した」「知的ではない」「品がない」といった感情を持つ人の割合が高くなっています。



※本項の設問：前問で留意して欲しいと思うことに対して、配慮していない中高年女性と同じ電車に乗り合わせたとしたら、あなたは、その人に対してどのような印象を持ちますか？（単一回答）
 選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。



※本項の設問：前問で留意して欲しいと思うことに対して、配慮していない中高年女性と同じ電車に乗り合わせたとしたら、あなたは、その人に対してどのような印象を持ちますか？（単一回答）
 選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

5. 下着の身だしなみにおける意識について

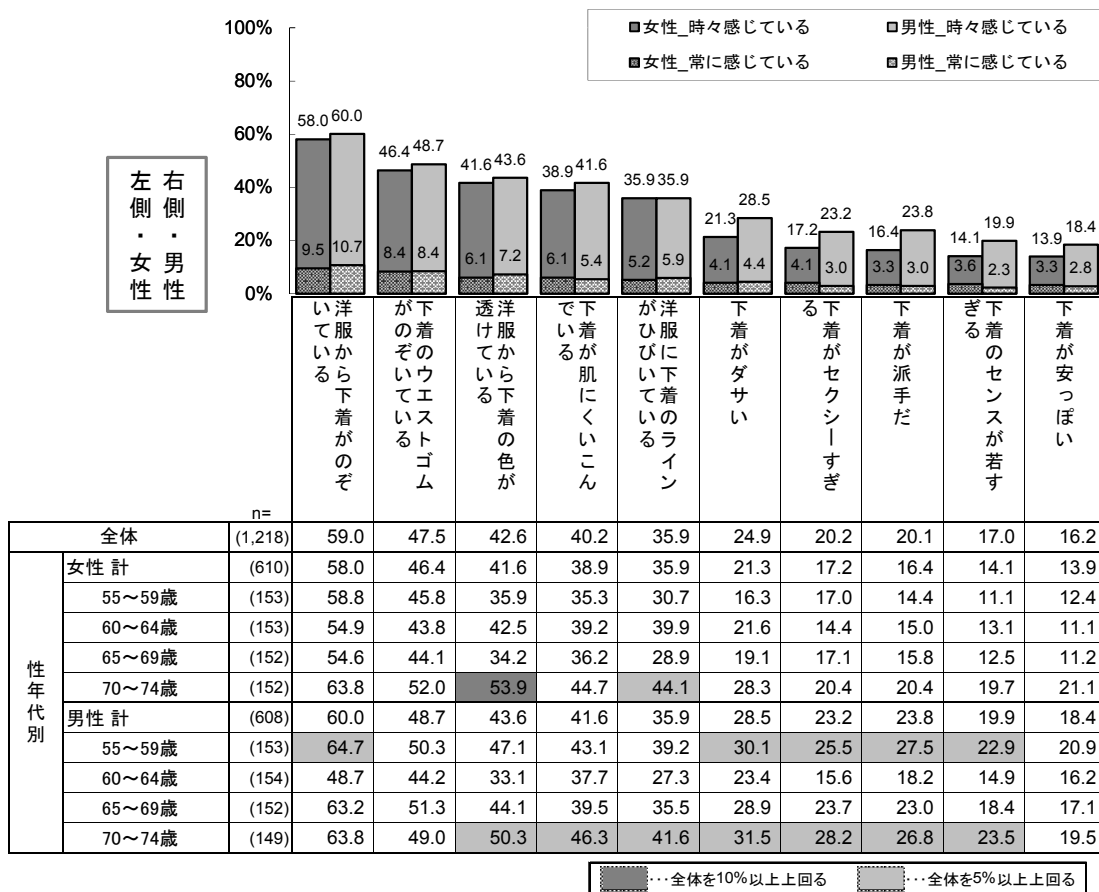
(1) 普段、他人の下着について不快に感じる事

【問】普段、あなたは次のような他人の下着について不快に感じることはどの程度ありますか？

■男女ともに、下着が見えたり、のぞいたり、透けたりすることに不快感を持つ人が多い。

- ・ 男性の下着に対しては、異性である女性よりも、同性である男性の方が、全体的に不快感を持つ人が多くなっています。
- ・ 男性の55～59歳や70～74歳では、下着が「ダサイ」「セクシーすぎる」「派手だ」「センスが若すぎる」といった見た目について不快感を持つ人が多いようです。

【男性に対して】

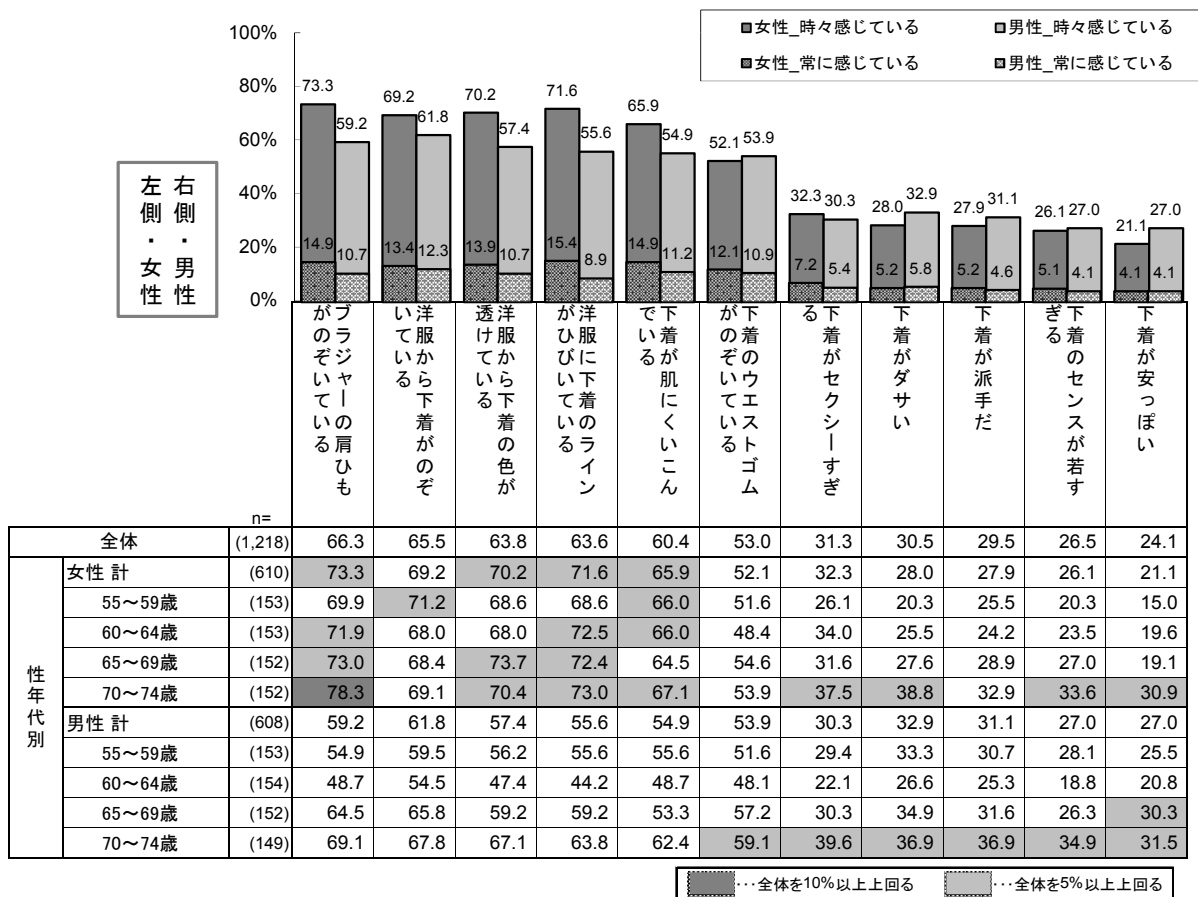


※本項の設問：普段、あなたは次のような他人の下着について不快に感じることはどの程度ありますか？（単一回答）

選択肢「全く感じることはない」「あまり感じることはない」「ときどき感じることもある」「常に感じている」から、「常に/ときどき感じている」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

- ・女性の下着に対しては、男性よりも同性である女性からの視線が厳しい傾向がみられ、見えたり、透けたりすることに加えて「下着のラインがひびいている」「下着が肌にくいこんでいる」といった点にも不快感を持つ人が多くなっています。
- ・「ダサい」「安っぽい」といった点については、同性である女性よりも男性の方が不快感を持つ人が多くなっています。

【女性に対して】



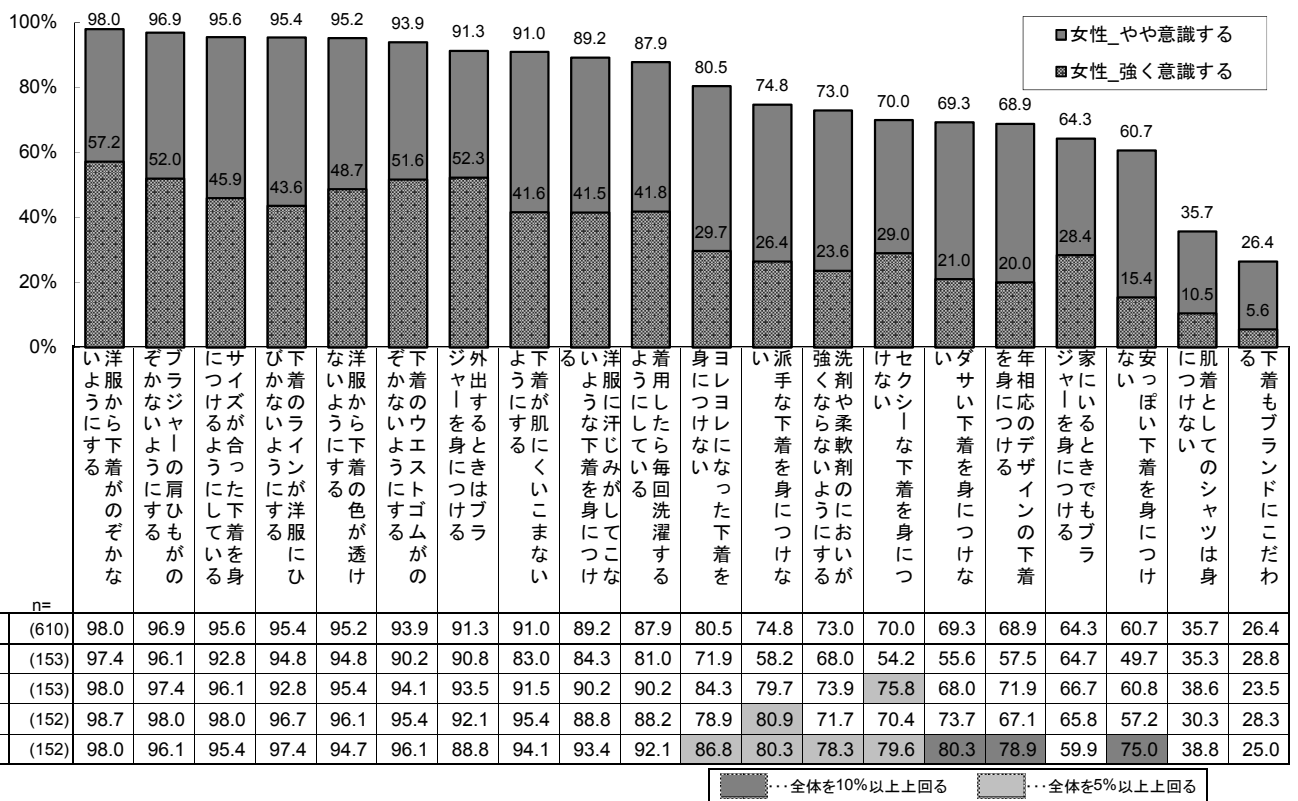
※本項の設問：普段、あなたは次のような他人の下着について不快に感じることはどの程度ありますか？（単一回答）
 選択肢「全く感じることはない」「あまり感じることはない」「ときどき感じることもある」「常に感じている」から、「常に/ときどき感じている」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(2) 下着の身だしなみとして意識していること【女性】

【問】「下着の身だしなみ」として、あなた自身は、以下のことを普段からどの程度意識していますか？

■いずれの年代も、「下着」や「肩ひも」が他人から見えることに気を遣う傾向が強い。

- ・年代が高くなるほど、「派手な下着」「ダサい下着」などは身につけないという点を意識する傾向がみられています。



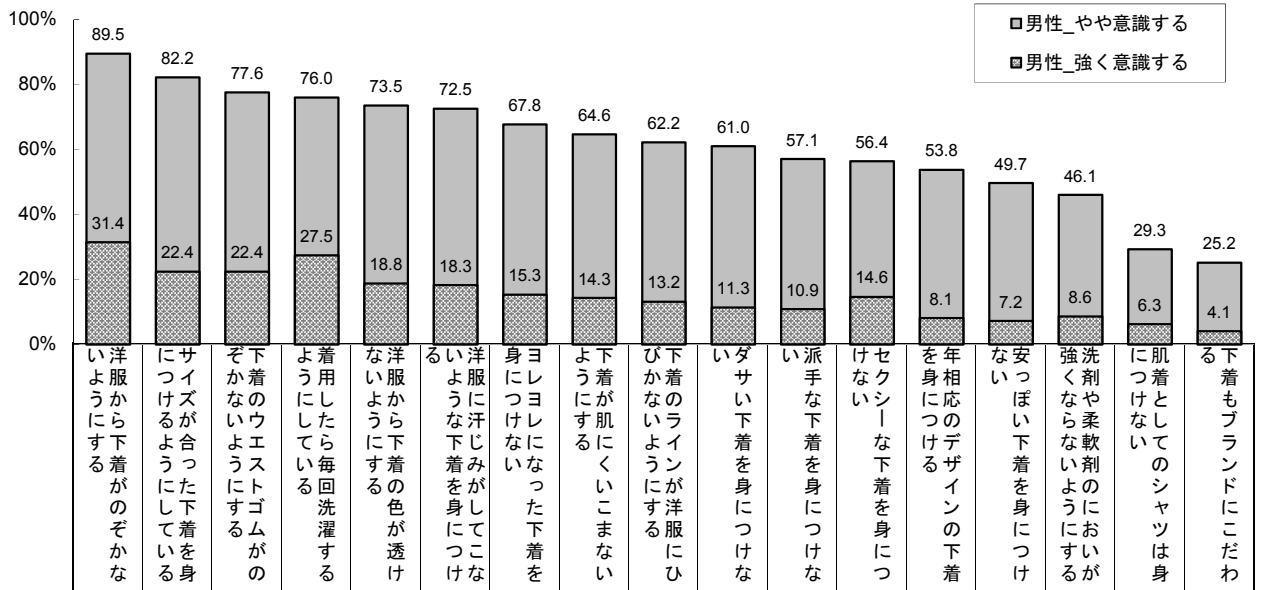
※本項の設問：「下着の身だしなみ」として、あなた自身は、以下のことを普段からどの程度意識していますか？（単一回答）
 選択肢「まったく意識しない」「あまり意識しない」「やや意識する」「強く意識する」から、「強く/やや意識する」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(3) 下着の身だしなみとして意識していること【男性】

【問】「下着の身だしなみ」として、あなた自身は、以下のことを普段からどの程度意識していますか？

■年代を問わず、「洋服から下着やウエストゴムがのぞかないようにする」といった、他者から見えなくする意識が女性と同様に高い。

- ・年代が高くなるほど「洋服に汗じみががしてこないような下着を身につける」「ヨレヨレになった下着を身につけない」「派手な下着を身につけない」「年相応のデザインの下着を身につける」といった点を意識する傾向がみられます。



全体 (男性計)		(608)	89.5	82.2	77.6	76.0	73.5	72.5	67.8	64.6	62.2	61.0	57.1	56.4	53.8	49.7	46.1	29.3	25.2
年代別	55～59歳	(153)	86.9	77.1	74.5	76.5	71.2	68.0	58.8	63.4	59.5	59.5	50.3	51.0	41.2	45.8	41.2	28.8	28.1
	60～64歳	(154)	85.1	80.5	75.3	73.4	70.1	69.5	63.6	61.7	57.8	60.4	51.9	49.4	49.4	41.6	40.9	24.0	22.1
	65～69歳	(152)	93.4	85.5	78.9	78.9	71.1	73.0	73.0	61.8	62.5	62.5	56.6	55.9	54.6	53.3	48.0	32.9	25.7
	70～74歳	(149)	92.6	85.9	81.9	75.2	81.9	79.9	75.8	71.8	69.1	61.7	69.8	69.8	70.5	58.4	54.4	31.5	24.8

●...全体を10%以上上回る ●...全体を5%以上上回る

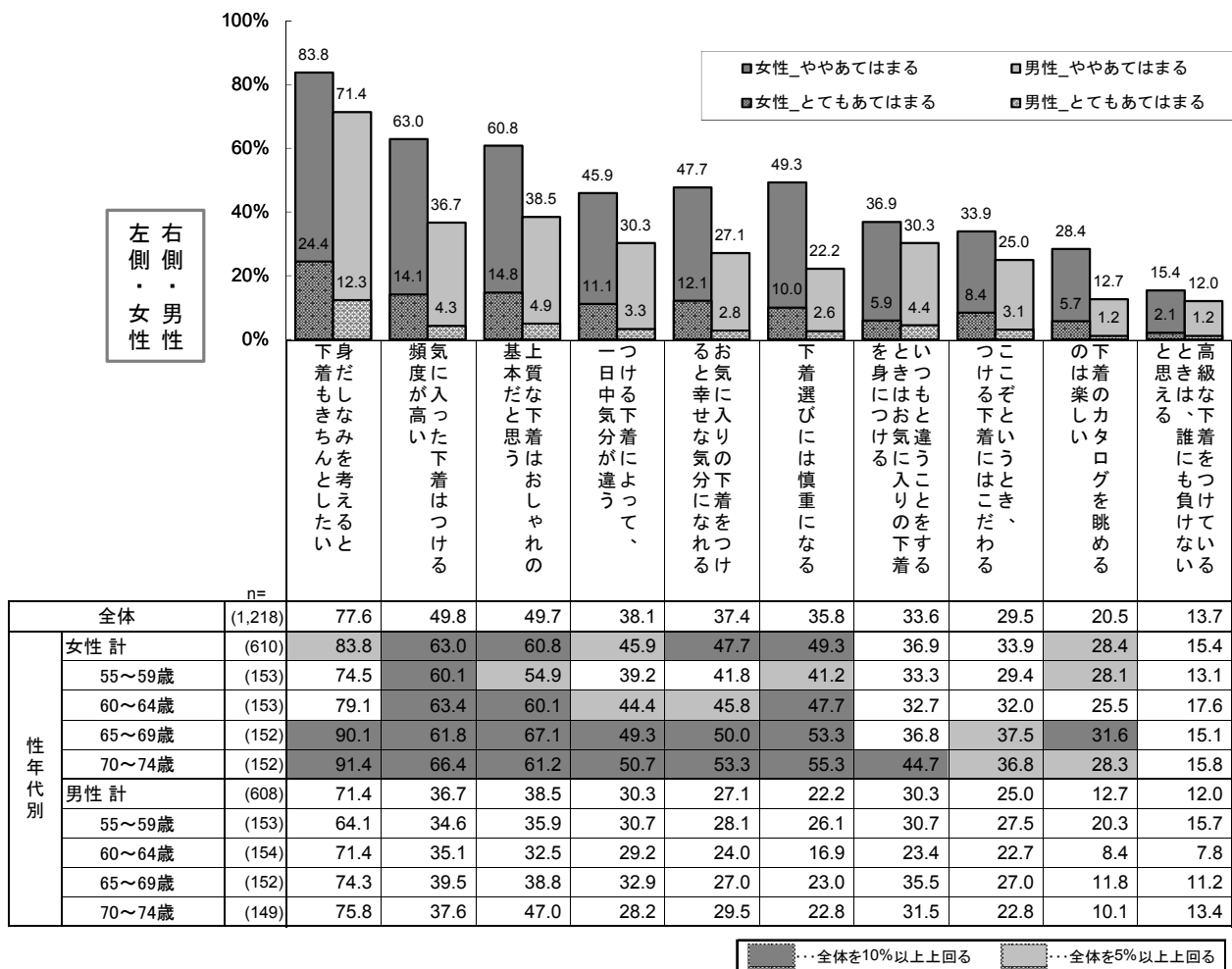
※本項の設問: 「下着の身だしなみ」として、あなた自身は、以下のことを普段からどの程度意識していますか？ (単一回答)
 選択肢「まったく意識しない」「あまり意識しない」「やや意識する」「強く意識する」から、「強く/やや意識する」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

(4) 下着に関する考え方

【問】下着全般に関する考え方について、以下の項目はあなたの考え方にどの程度あてはまりますか？

■ 女性は8割、男性は7割が、下着を身だしなみの一つとして考えている。

- ・特に、女性は「気に入った下着はつける頻度が高い」や「上質な下着はおしゃれの基本だと思う」「下着選びには慎重になる」などの面で男性よりも意識が高まる傾向にあります。
- ・また、女性は55～64歳の年代よりも65歳以上の年代で「身だしなみを考えると下着もきちんとしてほしい」「つける下着によって、一日中気分が違う」「お気に入りの下着をつけると幸せな気分になれる」などの割合が高くなっています。
- ・下着を身だしなみの一つとして考えている男性は、女性よりも少ないようですが、「つける下着によって、一日中気分が違う」「お気に入りの下着をつけると幸せな気分になれる」という男性も3割前後いることがわかりました。



※本項の設問：下着全般に関する考え方について、以下の項目はあなたの考えにどの程度あてはまりますか？（単一回答）

選択肢「あてはまらない」「あまりあてはまらない」「ややあてはまる」「とてもあてはまる」から、「とても/ややあてはまる」と回答したパーセンテージを、ポイントの高い順にグラフに表記した。

この報告書に関するお問い合わせ先

株式会社ワコール 広報・宣伝部

(京都) TEL 075-682-1006 FAX 075-682-1103

(東京) TEL 03-3239-1117 FAX 03-3239-1118